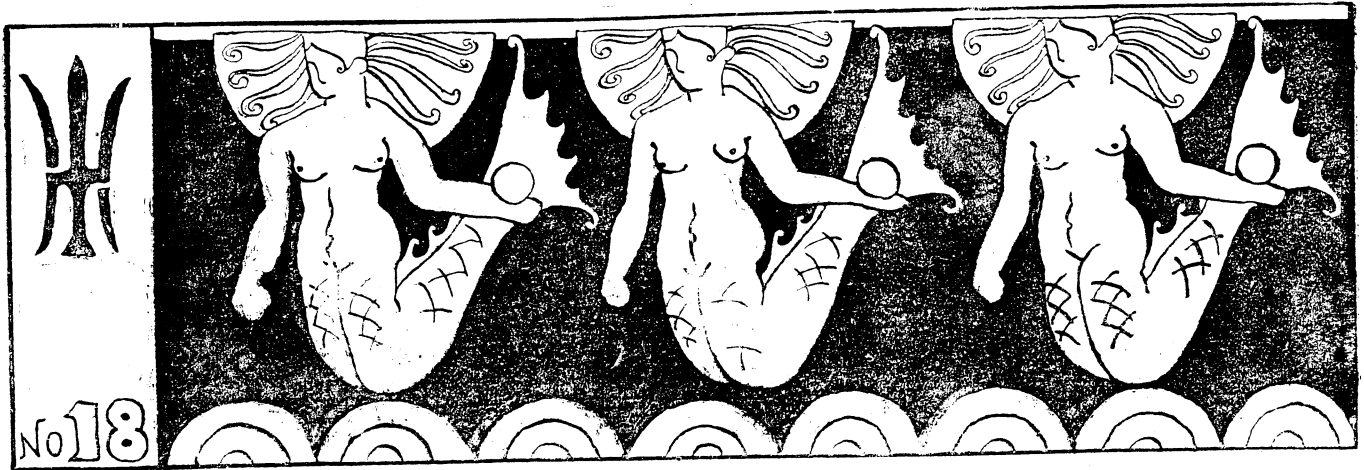


# 水泳

1938

昭和八年七月一日發行

日本水上競技聯盟



## 目 次

極東大會に對する  
日本水上競技聯盟の態度……………NSR顧問 田畑政治…( 3 )

小ざかしき日本水泳選手……………ポール・ギアリコ…( 7 )

第三回臺北對抗水上競技大會……………( 9 )

YMCA  
主催 初等飛込競技會を見て……………柴田隆二…( 15 )

### NSR 公示事項

飛込競技規定改正の要旨……………( 16 )

水球規則改正要旨……………( 17 )

NSB昭和八年度日程……………( 18 )

### 指 導 欄

水球の研究……………時 任 嚴…( 19 )

飛込競技用設備……………島崎保正…( 20 )

日本を去るに當つて……………バルバッチ…( 27 )

バルバッチ氏餘談……………K. A. …( 27 )

世界情報……………( 28 )

世界記録二つ……………( 32 )

(表紙は名子實三氏考案、創作)

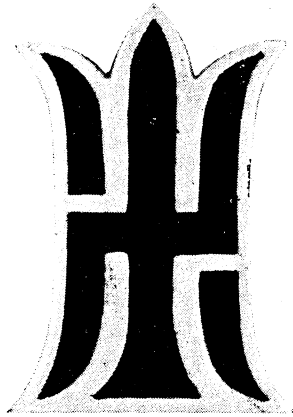
## 日 本 選 手 権 期 日 變 更

本年の日本選手権大會は8月11日から3日間、神宮外苑プールに於て舉行する旨報告したが  
11日は帝都防空演習があるので夜間消燈のため、12日から3日間と變更があつた。

### 第 二 頁 寫 眞 說 明

## George Hearn Cup

昨年八月十四日 Los Angeles の水泳場で行はれた大陸對抗 800 米リレーに寄贈された FINA の創立者ジョージ・ハーン氏の永久トロフィーの寫眞が此程到着した。宮崎・遊佐・豊田・大横田選手はアジアチームとして参加し 9:01.4 のタイムで米大陸及歐洲チームを敗り第一回のトロフィー獲得者の榮譽をかちえた。



## 極東大會に對する 日本水上競技聯盟の態度

NSR 顧問 田 畑 政 治

日支比三國對抗の選手權爭奪競技大會である極東選手權競技大會が現在に於てはその意義の大半を失つてゐる事は、何人も認める處であり我が日本水上競技聯盟は既に大正十五年その代案として汎太平洋競技大會を提唱し、近くは前號で我が聯盟の理論家川口又男君が三大陸對抗を提唱してゐるが極東大會に對する我が國の代表團體である大日本體育協會も近時やうやくこの點に着目して、同協會名譽主事、薈隆、高島文雄兩君の名に於て關係競技團體たる全日本陸上競技聯盟、日本水上競技聯盟、日本庭球協會、大日本蹴球協會、大日本排球協會、大日本バスケットボール協會及びオープン競技團體たる大日本ホッケー協會、全日本アマチャー拳闘協會の代表者を五月二十四日、丸の内永樂クラブに招いてこれに關する協議會を開いた。吾が水上聯盟からは常務理事會の決議で私と松澤、西本兩君が代表者として出席し極東大會の意義の失はれた理由、並にその改善案を述べたが、その會の出席者は大體現在の極東大會を存續する事は意義が少いといふ事とこれに代るべき案があり又その代案を實施する事が確實に可能であるならば極東大會は改廢してもよいといふ意向にまとも次回は五月三十一日に永樂クラブで開いて代るべき理想案を持ち寄らうといふ申し合せをして同日の會は散會した。然るに次の會に於ては形勢は變化して、今更ら極東大會をやめるといふ事は今までの交友關係を無視するもので國際親善の上から見て面白くないといふ表面の理由から庭球を除いて、殆んど無條件の参加を要望するものが多く、水上聯盟の態度を寧ろ思ひ上つてゐるといふやうな口ふんをもらすものさへ出る有様であつたので、私は水上聯盟の代表意見として下記の趣旨の陳述をなしこれに關する水上聯盟の態度並に見解を簡明にした。

日本水上競技聯盟は極東選手權大會に關し、大正十五年八月十六日京都に召集された全國代議員會の決議に依り、同日午後五時末弘會長の名を以て次の聲明書を發表した。

### 聲 明 書 大正十五年八月十六日

近時漸く世界的水準線に達せんとしてある我が水上競技をして益々發達向上せしむるがためには國際競技によつて刺激と教訓とを受くる必要ある事も、ちろんなりといへども從來の如く單に日支比三國の参加のみによつて成立する極東大會は最早やわが國選手にとりて十分なる刺激と教訓とを與ふるの力なきこと明瞭なるが故に本聯盟はこの際寧ろ主力を來るべき世界オリンピック大會に集中せんがため明年上海に開催せらるべき極東大會に参加することを斷念し將來の方策としては例へばハワイ濠洲等太平洋沿岸諸國の参加による定期の汎太平洋水上競技會を開催するが如き方策を樹立しもつて選手に世界的強敵と戦ふべき機會を與ふるをもつてもつとも賢明なりと信ず。

これに對する世上の批難は實にゴウゴウたるものがあり、その代表的のものは次の通りである。

(東京朝日新聞に依る)

あまりに身勝手

某氏の憤慨談

右につき某氏は語る『極東大會不参加といふ事を聞いてその理由を解するに苦しんだが今その聲明を聞いて更に一驚した。ハワイ濠洲を入れるのは賛成だが現在の相手が弱いからやらないといふのはあまり身勝手過ぎる。極東大會における日本の蹴球、ヴァレー、バスケットの成績はどうだ、もし地をかへて比支兩軍が日本は弱いから以上の競技に参加しないと聲明したらどうだ、日本にとつてこんな屈辱が又とあらうか、勝放にのみ拘泥し過ぎてゐるのはもちろんで、この大會の國際的交情に付いて第一に考へを置いてもらひたい』

然し水上聯盟は水泳に於ける極東の覇者といふが如き空名に酔つて、自己の向上進歩に對する精進を怠るが如きは決して採るべき途でないといふ信念の

下にこれらの悪評に對し何等いいわけをなさず、ひたすら聲明書の具體化を斷行し左の二つの企ての實現を期して所信に邁進した。

一、次年の昭和二年八月二十三日より四日間（極東大會と同時期）ハワイに開かるべき全米選手權大會に出来るだけ多數の選手を派遣してワイスマユラー、コーチャック、クラブ、ラウファー、スペンス等の世界一流選手より直接の教訓を受けて、アムステルダムに於けるオリンピックに具ふる事。

二、同年十月一、二兩日、全米選手權大會に出場すべき米國一流選手並に強豪チャールトンをも有する濠洲選手を招いて玉川に汎太平洋大會を開き、費用の關係から全米選手權大會に派遣し得ない多數の選手に對し實地教訓と刺戟を與ふる事。

この企ては共に實現され、同年七月三十、三十一兩日玉川に開かれた全日本選手權大會の成績に依り最も優秀な高石、鶴田、佐田、新井、木村の五名をハワイに派遣し豫期以上の成績と絶大なる教訓とを受けて歸つた。この遠征が翌年のオリンピックに如何に有益であつたかは、アムステルダムのオリンピック大會で二百米平泳に優勝した鶴田が「オリンピックより歸りて」と題する水上聯盟のオフィシャルレポートで「若し昨年、ハワイに派遣される事なく、スペンスと泳ぐ機會が無かつたなら、私は今日の榮譽は得られなかつたであらう」といつてゐるのを見ても明である。又昨年、ロサンゼルス、ロサンゼルス、ロサンゼルスの大會で鶴田が再びオリンピックチャンピオンたる榮譽を獲保したのを見たスペンスが、同年八月十五日、ロサンゼルスのアンバサダーホテルで開かれた朝日新聞の水泳座談会の席上「千九百二十七年のホノルルの大會で鶴田に私のフォームを盗まれる事がなかつたなら鶴田君を今日こんな英雄には、させなかつたであらうに……」となけいて、これを裏書きしてゐる。

一方、汎太平洋大會は報知新聞の援助に依り同社と共同主催で豫定通り十月一、二兩日玉川に開かれた。豫定した米國のワイスマユラー、コーチャック、スペンス、濠洲のチャールトン、比島のイルデフォンゾの來朝は實現されなかつたが、米國のラウファー、グランセー夫妻、ライラーの四名、ハワイのクラブ兄弟、カンバムの三名、濠洲のモーアー、ボースト、グレーアー、ヘンリーの四名と多數の日本選手によつて行はれられ又豫期以上の教訓と刺戟を與へ、單に男子競泳のみならずレイ明期にあつた女子競泳並に飛込競技に與へた効果は絶大なるものがあ

つた。この二つの企がアムステルダムのオリンピックに非常に有益であつた事は勿論であるが、これ以上に私は、水上聯盟が聲明書に對する惡罵を甘受してその所信に邁進した事が、やがてロサンゼルスの優勝となり、日本水泳界を今日あらしめた根本原因であると確信してゐる。

一方、體協並に他の競技團體は水上聯盟の聲明書の精神はこれを黙過し、ハワイに第一流の選手を送る事に異議は唱へないから、その次位の選手を以て極東大會に参加せよとの要望がしきりであつたから水上聯盟は五名を除いた西本を主將とし、ハワイに派遣された五名と共に翌年のアムステルダムのオリンピック大會に日本代表選手となつた野田、入江、米山、竹林、馬渡を含む二十名を上海に送つたが、支那役員の無能、無誠意、設備の不完全は驚くべきもので、その結果は全くみじめなものに終つた。

プールは三十三ヤードのものを二十五米に仕切つたため、仕切りが不充分でターンに故障を生じ第一日は開始時間が一時間も遅れ、スターターは全く目茶で比、支兩國のフライングは黙過したため正規のスタートをする日本選手はスタートで比支兩國選手に少くも三米以上は遅れるといふ有様だが日本側の抗議は認められず、観衆は別としても役員までがカケを行つてゐるといふ有様で、水泳チームは競技をやる意思を全く失ひ、早くも第一日から總棄權の要望が選手のみならず水泳の役員からも強く唱へられた。第二日は背泳で一着に入つた入江がオミットにされずに消えてなくなり第三日はイルデフォンゾのフォーム違反問題等日毎に紛擾を重ね水泳チームは遂に總棄權不可避の狀態に陥つた事は當時の新聞紙が可なりセンセイショナルな取り扱ひ方で報道したが、水上聯盟は遠征チームに對し「出場すべし」との指令は一本も發しなかつたのである。それは總棄權した場合、受くべき批難は、かういふ大會に敢て競技者を送つて。彼等をこんな破目に追ひ込んだ水上聯盟自身が受くべきで、遠征チームの受くべきものでないといふ信念を持しこれ以上、彼等をして、みじめなファン圍氣の中にさらして置くに忍びなかつたからであつた。然し體協本部役員の懇請で我が水泳チームは實に不快極まる競技を續け遂に四拾三點對三十九點で慘敗し、自餘四日に渡つて行はれる筈のエギジビションは日本側の總棄權により、開催不可能に陥つたのである。この時又、水上チームに對する世の惡罵は實にすさまじいものがあつた。然し水上チームはこれに對し何の辨解もせず、その惡罵を甘受したが、かういふやり方では、この大會

の唯一の目的とされてゐる國際親善などが出来る筈のものではなく、つくづく極東大會の有害無益なる事を痛感した。かくの如き大會は一日も早く精算せなければならぬが、この大會の優勝國に聖上カヅツが下賜されてゐるに對し奉つても水上聯盟として敗れたまゝやめるのは如何にも濟まないといふ責任感から昭和六年の東京に於ける極東大會には全力を擧げる事とし、當時、ハワイから明大その他に對し招聘があつたが水上聯盟は昭和五年の秋から六年の極東大會が終るまで選手の外征を一切禁止して、ひらする極東大會に具へ立派に上海の敗戦を雪辱した。これで水上聯盟は極東大會に對するひつかりは一切精算されたものと確信してゐる。更に繰り返へしていふが、水上聯盟が東京の大會に全力を注いだのは決してこの大會の意義を認めてやつたのではなくこの大會を精算する過程として、先づ自己のしておかなければならぬ事をやつて、責任を果したといふに過ぎない。即ち、水上聯盟の極東大會に對する見解は大正十五年以來終始一貫變らず、現在に於ても大正十五年の聲明書を何等修正せんとする意向なきのみならず今日となつて益々かの聲明書の精神を具體化しこれを實現するの必要を痛感するものである。明年の極東大會で現在の日本水上チームに對し比島役員が上海當時のやうな非禮を行ふであらうとは考へられないが、宮崎が百米でワイスマミュラーの世界記録を破るかどうか、千五百米の優勝者は牧野か北村か、四百米は横山か大横田か、背泳は清川か、入江か河津かといふ事が觀衆は勿論役員の本格的な對照となる事は前回の上海、前々回の比島に於ける實例に見ても明かで、かういふ事が厳格な意味でのアマテラススポーツ精神を固執し然も極東大會の本質に何等の意義を發見し得ない我が水上チームの役員選手に對し、非常な不快な念を與へるのは必然で、こゝに端を發し氣候の激變による精神の昂奮も伴つて上海に於けるやうな紛擾を再び惹起する事なしと誰が保障できるだろう。然もこの場合の責任者として非難を浴びるものはわが水上聯盟である。勿論事實の認識を缺いた世上の非難によつて嘗て一度もその所信を曲げ指導精神を改變した事の無い我が水上聯盟は徒らに無理解な世評を恐れるものではないが受けなくても濟む非難を、ことさらに求めたくはない。實質的には如何にとるに足らぬつまらぬ批難でも、それが若い競技者の氣持を動搖さす影響が絶無であるとはいへないからである。

次回の極東大會の開かれる五月といへば比島では一年中で最も暑い時期であるから日本に於ては寧ろ

うすら寒さをさへ感ずる四月に渡航して急に比島の五月に移る事は氣候の激變による影響だけでも日本選手にとつては健康上非常な冒険である。その上比島はアミバー赤痢等恐るべき郷土病を有するのは醫學者の共に認める所である。然も學生にとつて重要な新學期を全部棒に振り費用をすてて敢てこの危険に飛び込むには極東大會の實質は餘りに無意義であると信ずるものである。勿論我等水上聯盟としても他に國際的進出の機會なく技術的の刺戟と教訓をこの大會のみによつて受けてゐる競技團體や今まで共に手をたすさへて來た支比兩國がどうなつても、自分さへよければよいといふやうな利己的立場を固執するのではない。この際この大會の實質と内容を擴大強化して支比兩國の進歩をも促進し、この兩國と競技をする事によつて刺戟と教訓を受ける状態にある競技團體はこの二國のみと競技する事もよし、又支比兩國のみでは何等意義を見出す事の出来なくなつた競技は更に汎く他に相手を求めるといふやうにしてこの大會に参加する各競技者並に競技團體が、皆、それぞれの意義と感激とを持ち得るやうに改善しなければならぬと痛感するものである。

これが實現を期するには先づ參加國の範圍を太平洋沿岸に限り、差し當り從來極東大會に参加して來た競技種目を行ふやうにしたならば一番早や途ではないかと信ずるのである。

勿論水上聯盟は他に良案あれば決して汎太平洋大會を固執するものではないが今日の形式では最早やこれ以上、忍ぶ事は出来ないのである。敢て世評に對して我々は云云しないが極東大會に關しあらゆる悪罵甘受し、然も忍ぶべきは忍び行ふべきは行つて來た我が水上聯盟の眞摯の態度に對し、少くも競技團體諸君から水上は思ひ上つてゐるとか自分さへよければ人はどうなつてもよいと思つてゐるんだといふやうな批評を受ける事は水上聯盟として不本意であるのみならず、實に不愉快極まるものであるといふ事をこゝではつきり述べておく。

同日の會合の空氣を見れば、極東大會のみを海外遠征の唯一の機會とする競技團體は是が非でも明年のマニラ遠征はやりたいといふ意向は明らかに察知し得られた、併しこれとても極東大會が今後永く存続する理由ありとは斷言せず、代るべき案があれば改善するもよいが、明年の大會には快く出場してその際開かれる極東大會の憲法委員會に改善案を提出し、出来だけの手續をとつた上で、それが容れられ

ない場合、態度をきめても遅くないとの主張をなしこれに對し水上聯盟はどうせ憲法委員會にかけても支比兩國が喜んでこれに賛成しないことは明かであるから、多額の費用と新學期を棒に振るといふやうな愚をせずとも今直ちに理想案の實現に邁進せよと主張し、この二つの意見の對立で第二次會合は終つたのである。

極東大會に日本としての参加、不参加、又はこれに對する態度を決定するものは大日本體育協會であるから、若し水上聯盟がこの協議會で飽くまで、つつ張つてこれを正式に體協理事會の問題にすれば水上、庭球以外でも極東大會に直接關係のない漕艇、ホッケー、拳闘、馬術、スキー、スケート等から代表して出てる體協理事は水上聯盟の主張に賛成する事は明かであるから數の上では必ず水上の主張の通る確信はあつたが、無理をして、折角、圓滿にやつて行つてゐる競技團體の間の感情を阻害する事は日本運動界の健全な發達のため面白くないと信じたので松澤、西本兩君と協議の上、來年の憲法委員會に理想案を提出し、その際、不幸にして支比兩國の賛成を得られなかつた場合は、以後極東大會に参加

することを斷念し日本は獨自の立場に歸り理想案の實現に向つて邁進するといふ根本主張が容れられたならば、他の團體と協調して快く明年の極東大會には出場して萬善を期しやうといふ事に態度をきめて六月七日の庭球協會事務所に於ける第三次協議會に臨んだのである。

幸ひに同日の會合では水上聯盟の根本主張が滿場一致で認められたので、同協議會はこれ亦滿場一致で極東大會に参加する事を申し合せたのである、出場する以上は最善をつくさねばならない、明年の極東大會は五月中旬ですから眞の豫選會を四月上旬に行ふ事は殆んど不可能であるから實質的には本年の日本選手權大會が豫選會になる外はなからうと思はれる。この點選手諸君に特に留意を顧むたいのである。又一方、協議會の理想案としては汎太平洋競技大會とする案、アジャ選手權大會として廣く世界のアマターの参加を歓迎するといふ案、綜合對抗競技として廣く相手を世界に求むる案等があつたがこれについても諸君の考慮と希望し、よい代案があれば水上聯盟に仰致しせられん事を希望するものである。

## 第7頁よりつゞく

てもよい。寶玉の如き貴き酸素は空中に一杯充滿して居る。只口を開いて吸ひさへすればよいのだ。

大概の米國選手の弱點はどうしてスピードを落さずモーションを止めずに之を吸ふかを知らなかつた所にあるのだ。處が日本人はこれを知つて居た。彼等が身體を少し反らせ、口の一角を水面に出して呼吸をする所は、今まで私がスポーツで見た色々のものゝ内最も美しいものゝ一つであつた。何のことはない、一眼でよいからアノ小さな黄色の腕白小僧さん達の泳ぐのを見られさへしたら萬事早判りなのだそうすれば一緒に泳いだ外の連中より彼等が數等優れた泳手であつたと云ふことが判つた筈だ。

私が二度目にプールを見に行つた時發見した事であるが、一つの點をマン氏が見落して居る事は確かである。それは此小ざかしい日本人達は身體に小さなモーターを喰付けて居ることだ。小さな日本人が吾偉大なる米國の健兒等を打負かすのを見た時、直ちに私は私自身に云つた。「アノ小さな奴が互角の仕合で吾強大なる選手等に勝てる筈がない、否何人と雖も勝てる筈がない。之は一つ研究を要するぞ」と

そこでやつて見た。そうしたらそれはモーターだつた。私は此私の目で見た日本人共は妖魔の如く伶俐である。そのモーターたるや、透明の油紙とムニャムニャ樹の皮と、富士山の雪とそれから餅とで出來て居る。餅が之を動かして居るのだ。

研究室内の醫學者達は云つた。選手は多分ストリキニーネかコカインの針を持つた微生物を身體に植付け、それから醫學的に有效な酸素を吸入させる方法をとつたに違ひないと、醫學的に有效な酸素ならそんなことをしなくても只之を腹一杯呼吸すればよいのだ。そうダウンと之を吸ひ給へ、我米國選手諸君そうすれば何人も諸君を打破ることは出來ないのだ。マン・コーチに就て惜むことは、酸素の刺戟劑としての醫學的效果に就て知らなかつたことだけでなく、負けた時にはどうして負けたかは問わず其負けたことに就ては沈黙を守り、どうして雪辱をしようかと云ふことを考へればよいのである。と云ふことをも知らないことである。そうだらう、どうだ兄弟！。

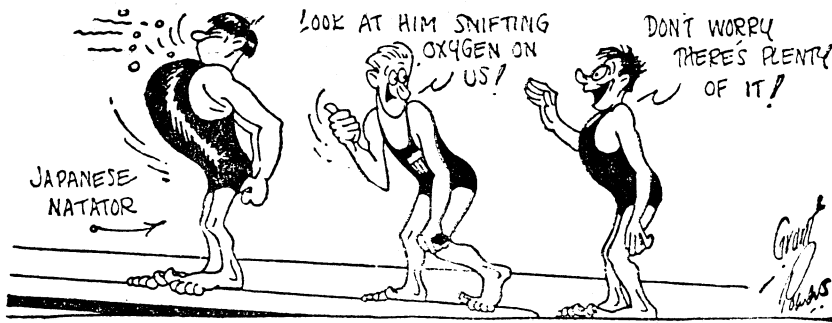


小ざかしき日本水泳選手

ポール・ギアリコ

米國某新聞に出たものでハンドレー氏が飯田氏の許に切抜いて送つて來たのを記して見た——白山

「我が大アメリカ國はオリンピックに勝ちたり」ヨシ、ヨシ、それでよし。お氣の毒乍ら、あらゆる競技で米國と歐洲とでは五對一位の勢力であつた様だ。然るにだ、讀者諸君も御記憶の如くに、プールでは流石の我選手も黄色い、小さい、日本人にギユウギユウやられてしまつた。そこで吾が眞のスポーツマン諸賢は何だかだと、其敗因の説明に若心をしたと云ふ譯だ。アノ十四歳の日本の小僧が、偉大にして力強きアメリカ國水泳選手達を尻目にかけて樂々と滑つて行く光景を見た時には、一旦は水泳國アメ



リカの家臺骨も遂に搖いだナと思つたもんだ。

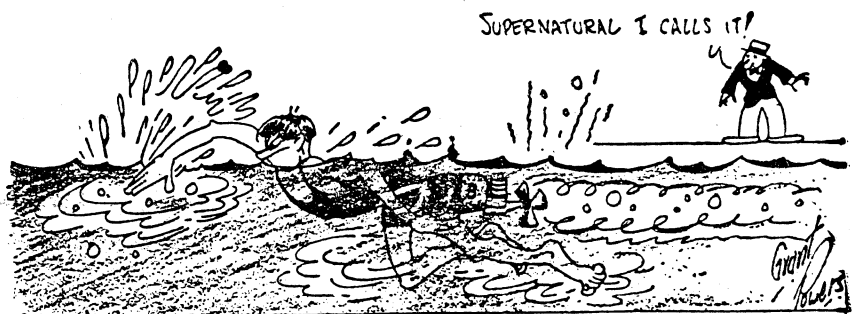
所がスポーツマン様方は萬事を解決された。大分時も過ぎてからの事ではあるが、之で私も幸福であり、我親愛なる母國の安泰も取戻された譯である。と云ふのは、日本人の勝つたのは競泳の前に酸素を喰つた爲だと云ふことが發見されたのだ。酸素こそは常勝の米國選手を百米も百五十米も抜くだけの偉大なる效力を有して居る刺戟物なりとの御説なのである。

所で日本人がどうして之を用ひるのが一向吾輩には判らなかつた。丸藥だらうか、皮下注射だらうか、或は水に入る前に身體へ塗りつけるのだらうかと考へて居た。吾輩は日本人の參加した競泳は一つも見落さなかつたので、段々それが判つて來た。どこから取るのかと云へばアメリカの選手がとるのと同じ所の大氣の中からとるのであつた。方法と云つた所で只之を吸ふだけの事である。多分アメリカの選手が出發前にオシャベリをやつて居る間に日本人は肺の中へ一生命命詰め込んで居たのだらう。

それは扱置き、賢明なる全アメリカ國のスポーツマン様方は今日まで米國の獨壇場であつた此水泳に於て日本人になめられたことのよい申譯を發見した事を喜こんだ事だらう。日本の方から見れば此問題で不當な誤解を受けた事になるけれども、只選手が競泳を終つて後の疲勞回復は液體酸素（註原文はこう云つて居る）を用ひたことだけは認めるであらう。そうして此讓歩で國際親善は再び維持されたことになる。

日本のコーチが其選手に刺戟劑を與たりとの抗議はミシガンのマツト・マン・コーチによつて起された。そしてそれは大きなセンセーションを巻き起した。然し、どうも、氏はよいコーチではあるが、よい醫學者ではないらしい。事は重大である。よい加減にして置く譯に行かない醫事に付ては醫學者を呼びにやつて看せて見なければならぬ。そこでデーリー、ニュースの醫事主任、テー、エフ、ドノーレー博士が登場することになつた。氏の御説によつて吾々は、もし酸素を刺戟劑としての用をさせようとするなら、適當の溫度の中で連続的に用ひねばならない事を知つた。そうして見ると日本人はアノ長いレースの間中、牧野に酸素をラヂオで送る装置を工夫して置いたに違ひない事になる。

私の知る範圍では血液は自ら消費する一定分量又は化學的、醫學的の一定の比率以上に酸素を保持し得ないものである。ハツハツお氣の毒だがマン君、君はお醫者だつたらナと考へないか。若しも日本人が、小さな酸素のタンタを肩にして泳いだとしたら笑ひ話の刺戟劑位にはなつた事だらう。心配しなく







比律賓チーム

主將 ア

デム

ク

サ

ノ

タ

ホ

オ

監督

イル

アラ

アル

デ

ム

ナ

シ

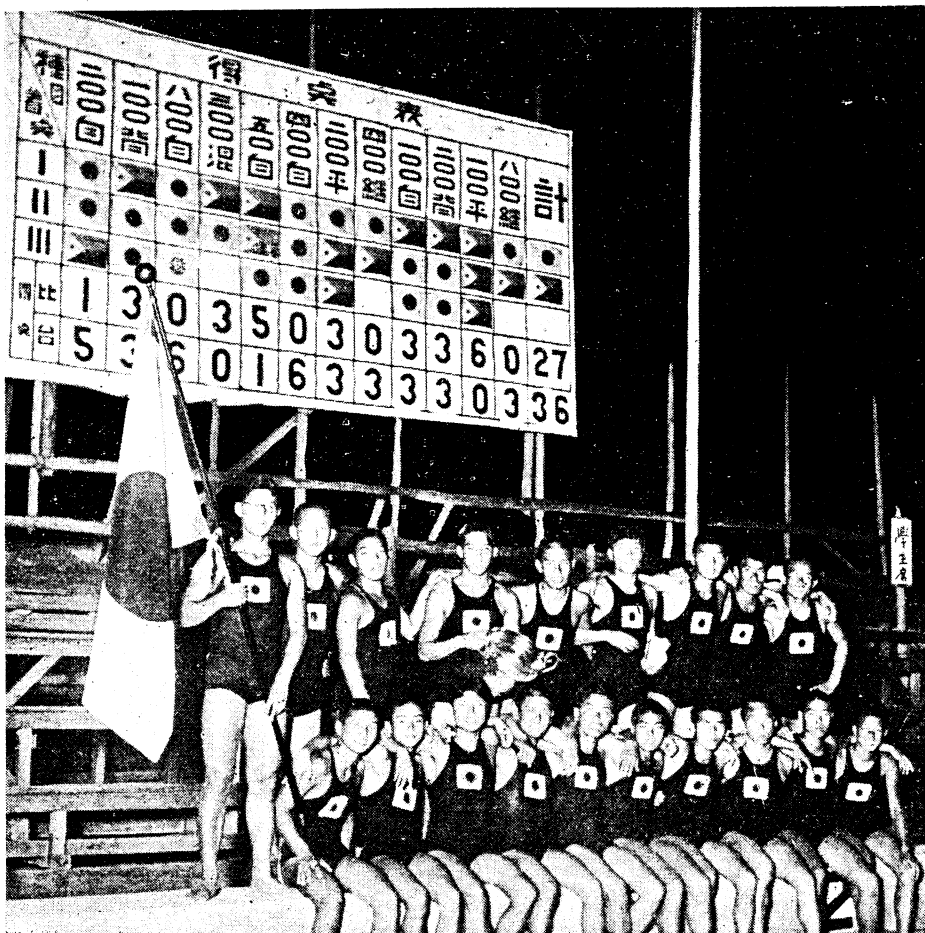
日本チーム

後列左ヨリ

前列左ヨリ、四人目ヨリ

川田、松村、平野、 小野、 大塚、

藤本、手塚、齋川、山口(主)、田口、横林、宮木、陣内、



### 第三回 臺北對抗

## 水上競技大會

36—27 臺灣軍快勝

極東選手権大會を明年に控えて、各團體ではそろそろ準備にとりかゝらんとする時、日本水泳界にとっては嬉しい便りが齎らされた。全臺灣とフィリッピンの對抗水泳競技は去る五月十三日から三日間、臺北市東門プールで舉行されたが、前回マニラに遠征した臺灣軍は遠征の不利にも拘らず、僅か九點の差迄比軍を追つめ、三十六點對二十七點で惜敗したと雖、近き將來に於て雪辱すべく、こゝに精進二年第三回に於ては、イルデフォンゾ、ヂキラム等のオリンピック代表を中心に全比律賓の精鋭を網羅した遠征軍を見事退け、前回の逆に三十六點對二十七點

で快勝して水泳日本の實力を如實に發揮した。中でも二百米平泳に於てイルデフォンゾ、ヂキラムを敗り二分五十一秒三の優秀なる記録を表した田口正之君の奮闘は特に目立つてゐる。

次にかゝける記事と寫眞はかつては明治大學に在學極東大會に出場して親しくイルデフォンゾと戦ひ今は本聯盟理事として臺灣水泳界の發展に盡粹されて居る藤本秀松氏及び臺灣體協の方々の御投稿によるものである。こゝに讀者諸君と共に感謝と祝辭を申上げる次第である。(編輯部)

### 第三回 臺北水上競技會を終へて

NSR理事 藤本秀松

前二回の復讐戦、水上王國日本の名譽の爲にどうしても負けられぬ此度の戦は一昨年暮マニラで敗戦して歸國して涙の跡のある内に早くも準備に取かゝつた。『水泳』十一號で諸君に小時待つて呉れ次回では必ず彼等を破ると誓つた言葉を反故にせぬ爲には水も漏らさぬスケジュールを立てゝ用意した。

佛の顔も三度目、何程氣の永い人でも今度負ければ臺灣の水泳界も地に落ちるは勿論自分としても立瀬が無い。

戦運やうやく我に巡り來て勝者となつた其時の氣持は『アー勝てて良かった』と云ふだけで他に何も無かつた——が靜かに考へると内地や臺灣の諸君にはやつと顔向け出来るがまだマニラの日本人には

負債がある。

夕暗迫るリザール公園で自分達の選手と共に泣いて呉れた日本人の前でもう一度完全に勝たねばならぬ義務がある。マニラの競技場での眞劍其もの様なあの顔付を忘れて戦勝には酔つて居れぬ。二年後に來る第四回臺北水上大會の爲に今から又準備にかゝる決心で居るのは自分一人でなく總ての水泳關係者及水泳選手の決心である。

世界的選手イルデフォンゾやヂキラムを破つたからと云つて自慢や誇りなんぞ考へても居らぬ。南より來る敵は臺灣でと云ふ様な大きな希望と責任を持つて臺灣の選手は練習して居る。

## 競 技 成 績

第一日(5月13日) 氣温31.8° 水温25°

着順	氏名	所屬	水路	時間	得點
200米自由形決勝					
1.	平野亮	(臺)	6	2:23.4	
2.	宮木利彦	臺	2	2:24.6	
3.	ア	リ	3	2:25.6	
4.	横林紀之夫	(臺)	4		
5.	アラサド	(比)	1		
6.	ヂキラム	(比)	5		
100米背泳決勝				5	1

1	クリスチャンセン(比)	4	1:15.5
2	小野四郎(臺)	5	1:16.4
3	松村元義(臺)	3	1:18.5
4	陣内清(臺)	1	
5	サントス(比)	5	
6	クーバー(比)		3/8 3/4
800米自由形決勝			
1	宮木利彦(臺)	4	11:14.2
2	齊川治久(臺)	2	11:15.1
3	小田洋一(臺)	6	11:18.0

着順	氏名	所屬	時間	得點 臺比
4	デムダム	(比)		
9	ムナー	(比)	6/14	0/4
6	ダツドレイ	(比)		

### 300米メドレーリレー決勝

1	比律賓チーム			
	クリスチャンセン	3	3:34.6	
	イルデフオンゾ			
	アリー			
2	臺灣チーム			
	松村之義	1		
	田口正之			
	横林紀久夫		0/14	3/7

第二日(5月14日) 気温30.5° 水温26°

### 50米自由形決勝

1	アリー	(比)	4	26.8	
2	ノヒ	(比)	6	26.8	
3	小野四郎	(臺)	5	27.7	
4	横林紀久夫	(臺)	3		
5	アラサド	(比)	2		
6	山口彰	(臺)	1		1/15 5/12

### 400米自由形

1	宮木利彦	(臺)	4	5:17.7	
2	川田洋二	(臺)	6	5:20.0	
3	齊川治久	(臺)	2	5:21.7	
4	ダツドレイ	(比)	1		
5	デムダム	(比)	3		
6	ムナー	(比)	5		6/21 0/12

### 200米平泳決勝

1	田口正之	(臺)	1	2:51.3	
2	イルデフオンゾ	(比)	4	2:51.4	
3	ジャラム	(比)	2	2:58.1	
4	藤本頼廣	(臺)	5		
5	オリバレス	(比)	6		3/24 3/15

### 400米リレー決勝

着順	氏名	所屬	時間	得點 臺比
1	臺灣チーム			
	平野亮	手塚仁	3	4:17.8
	小野四郎	横林紀久夫		

### 2 比律賓チーム

	アラサド	ノヒ	1	4:19.5	3/27 0/15
	ジャラム	アリー			

第三日(5月15日) 気温30° 水温25.5°

### 100米自由形決勝

1	アリー	(比)	3	1:02.7	
2	平野亮	(臺)	4	1:03.3	
3	横林紀久夫	(臺)	6	1:04.7	
4	アラサド	(比)	5		
5	手塚仁	(臺)	2		
6	ノヒ	(比)			3/30 3/18

### 200米背泳決勝

1	クリスチャンセン	(比)	4	2:47.3	
2	小野四郎	(臺)	5	2:52.0	
3	松村之義	(臺)	3	2:55.9	
4	陣内清	(臺)	1		
5	サントス	(比)	2		3/33 3/21

### 100米平泳決勝

1	イルデフオンゾ	(比)	5	1:16.4	
2	アラサド	(比)	1	1:19.0	
3	ジャラム	(比)	3	1:20.1	
4	田口正之	(臺)	6		
5	藤本頼廣	(臺)	4		0/33 6/27

### 80米リレー決勝

#### 1 臺灣チーム

	平野亮	川田洋二	4	9:48.9	
	横林紀久夫	宮本利彦			

#### 2 比律賓チーム

	クリスチャンセン	ダツドレイ	2	10:18.2	3/ 6 0/27
	アラサド	アリー			

## 第三回臺比對抗水上競技大會に就て

第三回臺比對抗水上競技大會は、今や將に其終幕を閉ぢた。靜に思を廻らせば、臺灣選手の進歩こそは實に驚くべきものであつて、四年前我々が壓倒的勝利を博した當時と比較して實に感慨無量である。臺灣選手が大會に於て月桂冠を得た要素として各選手の崇高なる精神、敢斷及勇氣が擧げられるが、其他本大會をして斯くも盛大に終らしめ、些の困難をも

## 比島水泳選手主將 A・アリー 述

惹起せしめなかつた關係役員の勞を多とせねばならぬ。

暫く水泳選手の事を離れて臺灣の人々の人情につき語らして貰ふ。

我々は比島から、此の美はしき島に來り、自分自身全く他國人だとは思はない。といふのは人々が皆親切であり、禮儀が篤く、且つ人を引きつける力を

持つてゐるからであつて、斯の如き態度こそは他國では全く見られぬものである。人々の親切及好意は全く我々に取り砂漠のオアシスにも例へらるべきものであるが、我々は我々の比律賓タバオに於ける日本人からも同様な感じを受けるのである。其處には一萬四千の日本人が住居し數百萬圓の投資をなし、着々其の成果を収めてゐる。彼等がタバオに住居してゐるのは、我々比島に取り大きな利益となるものである。彼等は法を遵守し、平和を愛好し、且つ勤勉なる労働者である。夫れで私が臺灣の皆様が親切であることを誇張するのは御世辭でも何でもないこ

とを諒解されたであらう。私は比律賓に歸れば貴官民の興へられた御親切、殊に中川總督、平塚總務長官、中瀨臺北州知事、堀田交通局總長、幣原帝大總長、谷本高校々長、高橋臺北一中校長、臺北市尹及基隆市尹等より賜はつた御好意に就ては、會ふ人毎に語り合ふ心算である。又臺灣の島影視界を去つた後でも、我々は此の美はしき島臺灣を永久に忘れないであらう。終りに臺灣が本年月桂冠を得られた事に就て嚴肅なる敬意を表し臺灣水泳選手及善良なる臺灣の人々に千萬遍の萬歳を稱へる。

サヨナラ

マタマイリマス

## 戦の跡をたどりて

臺灣水上軍監督 武田 義人

第三回臺北對抗水上競技大會は我軍の勝利に幕は降された。思へば苦心と努力の四年間であつた。選手の誰れも皆寒い日にも雨の日にもプールに入つて泳ぎ續けて來てゐる。又關係役員の誰れも皆今日の此の勝利を願ひつゝ精進を續けて來たであらう。これ臺北戦第一主義の旗下に參じた誰れもの考へであり行動であつた。

夕闇せまるあの競泳場に起る最後の君ヶ代の吹奏を誰れか涙なしに聞き得やうぞ、これ努力の涙勝利の涙感激の涙である。こゝに戦跡をたどりて思を大會当日に及ぼさう。

第一日劈頭は200米自由形である。これは長距離に強い臺灣軍と短距離に強い比島軍との各得意の中間の種目である。これはお互ひに海のものとも山のものとも分らず最も策戦に苦心した種目である。若し此の一戦に破れんか再び覇業成らずである。どうしても此の種目には勝たねばならない。先づ比島軍は中のコースにアリが出る事は明である。結局アリを押しせばそれでよい。又一方比島軍は横林を最も警戒してゐる事は事實である。だから横林とアリを並べて置けばよろしい、宮木はアリについて泳げば最後には抜く事が出来る。平野は若手でもあるしまだ自分のペースをあまりよく知らないから自由水路で自由に全力を盡さずがよからうと云ふので宮木を2水路、横林を4水路、平野を6水路に置いたそして平野は左下で泳ぐから6水路は歸路に全部を見る事が出来る其の上最後が非常に強いから全部が見えれば歸路には何とかするだらうと云ふのが當方の策戦であつた。これは臺灣軍の策戦美事効を奏したと云つてよろしい。これで一、二等を得ることが出来た。これで遂に覇業成れりとの確信を得た。又三

人のタイムが平常のベストレコードより二乃至三秒よく成つてゐる事が我選手全體のコンディションの良好を物語る一つの證據ともなつて次の策戦に對する好參考ともなつた。

ついで100米背泳である、クリスチアンセンの泳を見ると仲々よろしい、脚は強いしスムーズに出てゐる、いさゝか不安は感じてゐた。併し彼のレコードが1分16秒だから18秒位はかゝるだらうと思つてゐた。小野、松村をクリスチアンセンの兩翼にする様にメンバーを出した果して其様になつたが豫期とは反して彼クリスチアンセンが15秒代を出すに至つては到底我の比ではない小野松村二、三等となつたとは云へ其のタイムは彼等のベストレコードである。練習中にさえ出した事のない良いレコードである。これは敵がより強かつたのである。800米自由形は問題外であつて我軍の宮木、齋川、川田の三人のレースと云つてよい。策戦も何もあつたものではない比島軍があつた泳方を改めない以上此種目は永久に我軍の獨占すべきものであらう。

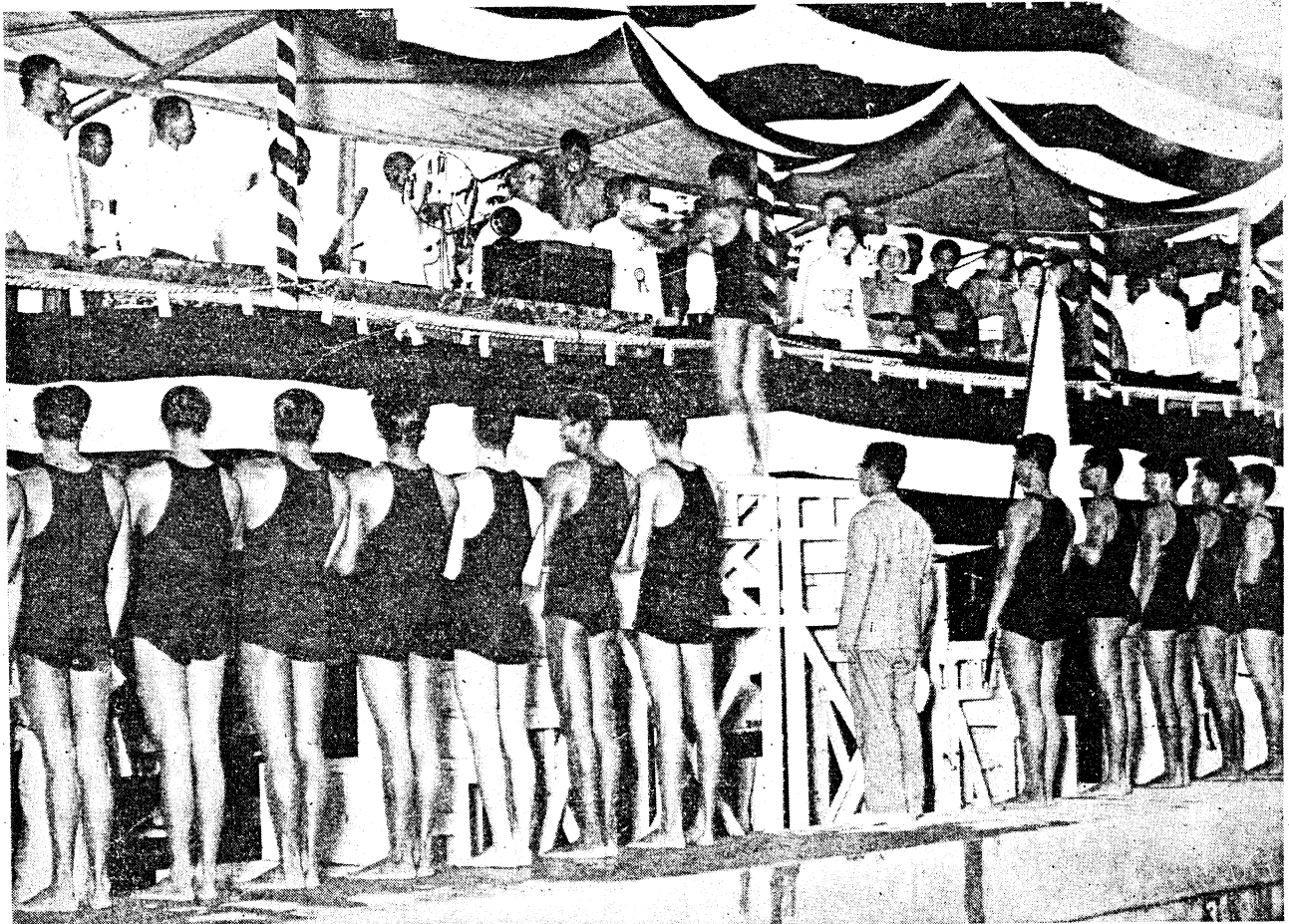
次に300米混繼泳であるが100米の背泳の結果を見た以上競争の餘地なしである。敵がフアウルしない以上如何に頑張つても勝味絶對になしであるが、唯田口を場馴れさす意味に於て起用したに過ぎない。第二日50米自由形である、これは比軍の最も得意の種目であつて26秒代を出さねば勝負を云々する事は出来ない。が併し悲しい哉我軍には26秒代を出す者は一人もゐない唯三等に一人入る事に於て満足しなければならない。小野の頑張り強く三等を得た事は特筆すべき事であらう。今後我々は此の種目を指導研究する必要がある。そして彼と對等に勝負し得る様にしたいものと思つてゐる。次に200米平泳

優勝盃を受ける山口主將



右、日本チーム 左、フイリツピン・チーム

← 二百米平泳 の田口、イルデフオンゾ、デキラム



である。これは何しろ世界的選手二名を向ふに廻しての對戰である田口好調を傳へらるゝとは云へイルデフオンズを破らうとは當日の觀衆の誰が考へ得たであらうぞ、併し我々コーチングスタッフは田口の一等には稍自信を有してゐた、それは若し田口がイルデフオンズにつられ前半を1分<sup>23</sup>秒以内で泳げば負けである、が若し1分<sup>23</sup>秒位で泳ぎしかもイルデフオンズ又はジギラムについて行けば後半の強い田口は必らず彼等を抜く事が出来るであらうと思つてゐた。果せる哉田口の前半1分<sup>24</sup>秒である。そしてイルデフオンズとの差は僅か體一つ位である。最早や大丈夫と思つてゐた。併しイルデフオンズがこれはしまつたと思つて180米位からのラストスパートは物凄かつたが平調にある田口と亂調にあるイルデフオンズである、タッチの差とは云へ其の好拙も自ら明である。此のレースに於て波をさける爲め自由に自分のペースで泳がす爲めに1水路に田口を置く事を云ひ張つた藤本コーチの先見の明は稱するに餘りありである。即ち本競技も策に於て勝つたものと思ふ。選手の實力の然らしむる所は勿論であるが。又本競技に藤本も好調であつて三分を切つてゐた事を附加して置く、次に400米自由形であるがこれも800米と同様である。併し800米と云ひ400米と云ひこれ迄の覇者でしかも800米に於ては臺北レコード保持者である田崎が不出場してゐない。しかも彼健在で選手候補者として猛練習をなすつゝあつたのである其の理由如何を求めらるゝ人が多くある。即ち臺灣の中長距離は往年のレコード保持者である田崎さえも正選手として出場出来ない程それ程進歩したのである。彼今尙自己のレコードにて泳ぎ得るにも係らず、彼よりも遙かに優秀なレコードにて泳ぎ得る三名の選手を確實に備へ得るが故に彼は遂に不出場の已むなきに立至つたのである、この現象は單に中長距離のみでなく、他の種目にも當然來るべきことを望んで已まない。又我々としても斯くあるべく努力しなければならぬと思ふ。次に400米繼泳である。比島軍はこれは當然勝つものと思つて來たであらう。我も亦苦戰であると思つてゐた。これが勝負の分岐點であると思つてゐた。併し負けるとは思つてゐなかつた我が策戦は始めに強い者を出して抜いて行かう。そして其の差を以て最後にアリと對戰して逃げ込めと云ふのであつた。これも策効を奏したと云つてよろしい。二番三番の泳手が我軍が自己のペースで泳いでゐるのに（之は勿論勝つてゐるからである）敵は前半のペースを亂した爲めに其の差を益々大にした傾があつた。最後の横林はよく逃げ

込んだ。アリが61秒代で泳いでゐるのであるから横林は63秒代で泳いでゐる筈である。このタイムは50米プールでは横林のベストレコードであらう。若し横林のタイムが65秒かゝるか又アリがトップに出て試合を敵に有利に導いてゐたなら此の勝負は逆轉してゐたかも知れない。此日で以て我々は愈々自信を得て來た。第三日目は最初100米自由形である。之も比島軍得意の種目であるが結局一等はアリのものとして譲らねばならないとしても二、三等は取らねばならないし又50米自由形程の差異は兩軍には認められない。先づ我軍としては平野、小野、横林で戦ふが順當であらう。併し次の200米背泳にはどうしても勝たねばならないので小野の代りに手塚を起用し平野、横林で二、三等を得るべく策戦した。そして小野を次の競技に出場さすべく休養せしめた。此の競技も我軍の望み通りに點數を取る事が出來た。200米背泳では我軍は陣内に重きを置いて田口のそれの如く策戦をやつたがクリスチアンセン依然として強く遂に抜く事を得なかつた。それにしても小野のタイムは稱讚に價する。陣内の當日の不振は不思議に思つてゐる。併し陣内が平常のコンディションを持つて當日ベストレコードを出し得たとしてもクリスチアンセンは抜き得なかつたであらう、次に100米平泳であるがこれは到底勝味はない。唯イルデフオンズのあの頑張りは我軍の手本とし参考として選手諸君によく記憶して置いてもらひたい、そして此の競技の三等が1分<sup>20</sup>秒であつた事を知つた時藤本にしる田口にしろ三等は取り得たであらうと思ふ。勿論點數に於ての勝利は確實であると自覺してゐたとは云へその心のゆるみが此のレースに現れてゐると思ふ。此のレースにも敵を全勝さしたくなかつた又平常のレコードを出し得れば全勝せしめずともよかつたのであらう。各選手とも非常によく戦つて呉れたが此のレースを稍放棄したかの觀はなかつたか。若しなければ幸であるが若し多少ともかゝる氣持をもつてゐたとすればこれは今後斷然改めなければならぬ事である。次は800米繼泳であるが200米自由形で一、二、四等を得てゐる我軍と三、五、六等である比島軍とに後一名宛加へての戰である。これは300米混繼泳に於て我軍が放棄したと同様比島軍は如何に頑張つても如何なる策戦を用ひても仕方のない種目である。これは我軍が當然得べきものを得たのである、これを要するに比島軍はアリ、クリスチアンセン、イルデフオンズの三人によつてのみ點數を得てゐるのに反し我軍は出場した選手の誰れもが點數を得てゐる事が今回の勝利を得た事になつてゐる。こ

れは丁度第一回及第二回の兩軍の状態の丁度逆をやつてゐる理である。即ち同一力量を有する選手を多數有し得た臺灣軍は今回の勝利の鍵を握つたのである。それと同時に選手相互の氣分がよく合つてゐた事及コーチングスタッフと選手とも亦極めてよく一致してゐた事である。此點選手諸君に敬意を表すると同時に感謝してゐる。我々は今から一九三五年のマニラ遠征を目標に多數の有能なる選手の養成に努力しなければならない。

競技そのものは兩島のスポーツを通じての交驛であるが競技をする以上必ず勝たねだならない。茲に選手諸君の自重と統制ある練習を望むと同時に本島民諸氏の御聲援を希望して已まない、重ねて選手諸君の御奮闘に全く感謝の意を表するものである。

こゝに今回作つた臺灣新記録を御紹介しやう。

200米自由形 2分23秒4 平野 亮  
同 2分24秒6 宮木利彦

800米自由形 11分14秒2 宮木利彦  
同 11分15秒1 齋川治久  
同 11分18秒0 川田洋二  
200米 平 泳 2分51秒3 田口正之  
300米混繼泳 3分42秒0 松村、田口、横林  
400米 繼 泳 4分17秒8 平野、手塚、小野、横林  
800米 同 9分48秒9 平野、川田、横林、宮木

尙我々は今度のレコードで満足して居るものではない。内地一流の選手と互して見劣りのしない程度に迄進めたいと思つて居る。常夏の地である、及ばすながら、世界的選手をも出すべく努力する考へである。何卒今後とも本競技の發展と臺灣の水泳界の爲めに絶大なる御後援を下さる様、日本水上聯盟の各位並に水泳同好の方々に御願して置きます。

尙當大會三日を通じて公開競技として各種競技が行はれたが決勝記録は次の通りである。

100自	1. 矢住信智 (北一中) 1:19.2	2. 佐々武彦 (高商) 1:12.0
	3. 坂井俊夫 (北工) 1:12.4	4. 重江誠夫 (高校) 1:12.4
200自	1. 矢住信智 (北一中) 2:41.9	2. 紙尾辰治 (工業) 2:44.5
	3. 坂井俊夫 (工業) 2:44.8	4. 村瀬政男 (工業) 2:44.5
400自	1. 佐々木重二 (北商) 6:00.7	2. 村瀬政男 (工業) 6:19.3
	3. 紙尾辰治 (工業) 6:23.9	4. 大久保一雄 (親冬) 6:23.9
100背	1. 陣内勇 (工業) 1:25.2	2. 峰尾静彦 (北中) 1:23.7
	3. 稻田政一 (工業) 1:29.6	4. 中野貞臣 (北商) 1:23.7
200背	1. 陣内勇 (工業) 3:21.3	2. 峰尾静彦 (北中) 3:14.8
	3. 稻田政一 (工業) 3:24.3	
100平	1. 中澤次郎 (北一中) 1:24.1	2. 本田張 (比一中) 1:26.5
	3. 濱田端夫 (高商) 1:27.0	4. 小原重人 (工業) 1:26.5
200平	1. 中澤次郎 (北一中) 3:09.0	2. 小原重人 (工業) 3:16.0
	3. 濱田端夫 (高商) 3:19.4	
200リレー	1. 臺北高校 (作田、渡邊、重江、讚井) 2:05.6	
	2. 臺北工業 (陣内、阪井、紙尾、村瀬) 2:05.8	
	3. 臺北一中 (加福、庄司、峰尾、庄司) 2:13.5	
300メドレー	1. 臺北一中 (峰尾、中澤、矢住) 4:04.7	
	2. 臺北工業 (陣内、少原、阪井) 4:11.7	
	3. 親冬會 (田川、原扇、高) 4:10.6	
高飛込	渡邊寛 (帝大) (7.26, 5.0, 8.96) 21.22	
	盛福俊 (帝大) (7.04, 6.6, 8.84) 17.28	

日本泳法

# YMCA 主 催 初 等 飛 込 競 技 會 を 見 て

柴 田 隆 二

飛込の初心者にとつて、今までの規則による一少くとも規定飛の幾つかを撰擇飛の幾つかと曲りなりにもコナさなければならぬ—飛込競技と言ふものは、かなり取り付き難いものであるに違いない。初心者爲にもう一段標準を低くした所謂デユナーに對する競技規則が必要ではないかと言ふので昨年初等飛込なる規則が定められたのであるが、今度、三月二十五日YMCAで行はれた「初等飛込競技會」を見て、それが更に初心者の立場から割り出された適当な手懸りであり、その種目が容易なものでありながら初心者に必要な基礎的ポイントをよく掴んでゐる事は、まことに時機を得た面白い使命を持つ競技會であつたと言ふ事が出来る。

競技會の内容として、初等基本飛込、高巾飛込、模範飛込、その他コミックダイブ餘興等が行はれたが先づ第一に初等基本飛込の競技種目に於て此の競技會の特異性を見る事が出来る、即ち

- |            |          |
|------------|----------|
| 一、走前棒飛     | 二、後倒れ飛   |
| 三、立前棒飛     | 四、後踏切り棒飛 |
| 五、走前棒飛半回捻り | 六、走前逆飛   |

の六種目であつて、それぞれ飛込各群の基本となるべき種目を、特に初心者の手に届く範圍内にまとめてある事は初心者のための競技會としてまことに當を得たものと言ふべきであるが、尙ほその撰び方種目の定め方に就いてはもう一層の吟味と研究が必要であると思ふ。例へば、走前蝦飛の如きは初歩の者にとつて基本として是非必要なものであるから、當然その種目の中に加へらるべきものであり、更らに觀點を換へて、空中に於ける身體のコナシ方、所謂「動作の一致」と言ふ方面から考へてその基礎的なものを種目に撰ぶと言ふ様な考へ方も必要であらうと思はれる。正しい足懸りと適確な段階を初心者に換へると言ふ意味に於てもう一層の研究と準備とを此の競技會に切望するものである。

競技成績は、

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 隈元君(44.4)一位 | 川田君(46.4)二位 |
| 日高君(44.2)三位 | 徳永君(44.0)四位 |
| 山田君(44.0)四位 |             |

であつて、隈元君などには磨かれないながらもよい素質を見る事が出来たのは本競技會の收穫と言へや

う。

**高巾飛込競技** 飛込の高さを取る事と板の踏み方を習熟する事は初心者にとつて一番大事であると言ふので此の新しい競技がプログラムの内に加へられたのは甚だ面白い目論見であるが、折角の目論見も實際には實に不用意に行はれたのは残念であつた。此の競技はなるべく高く、成可く巾を廣く飛んで前方に張られてゐるテープに手を觸れればよいとしてあるのであるがその踏切りの姿勢に就いては何等規定してないために、競技者の多くは巾を廣く飛ぶ爲にいづれも身體を崩して、ただブロードジャンプの爲めの踏切りとなつてしまつてゐる事は、此の競技の使命である板を正しく踏むと言ふ事を没却したものと云はねばならない、どこまでも板踏み方を習熟するために生れた此の競技であるから踏切りの姿勢に就いてもしかるべき規定を設けて此の競技を意義あらしむべきである。

**模範飛込**は明治の生江君、岩切君、石川君、慶大の原(酉)君、YMCAの石川君等で行はれたが、別に括目に値する様な出来ばえを見ることも出来なかつたのは時機がシーズンオフであり踏み慣れない一米の板であつたからであらう。要するに「YMCA主催初等飛込競技會」は言はば、誠に時機を得且つ嗜好にかなつた献立でありながら、なほその調理法庖丁の入れ方に充分の吟味と研究と準備とを缺いてゐる點のあつたことは、まことにほしい事であつた。

目下、吾が國の飛込界に於て爲すべくして最も急を要するものは「飛込競技の普及」と言ふことであつて、よく普及した水泳より優秀な競泳選手が輩出する如く、飛込に於ても優秀なる選手を生むためには先づよく普及させると言ふことが何より急務であると言はねばならない。この意味に於いて「取り付き難い」と言はれる飛込競技にとつて、初心者の爲に好個の手懸りとして此の種の競技會が生れた事は意義深い事である、殊に飛込のまだよく普及されてゐない地方にても此の種の競技會なら容易に行ひ得るものであらうから、茲に蒙を啓かれた此の種の競技會が地方水泳團によつて接踵して行はれ聯盟の指導と共にその普及に資せんことを此の際切望して止まぬ。



## 日本水上競技聯盟公示事項 飛込競技規定改正の要旨

本回の競技規則改正は

1. FINA の規則改正に伴ひての改正。
2. 国内的事情に基いて特に我國のみが用ひて居つたものをその事情の消散と共に之れを廢止し FINA の規則を採用。
3. 飛込競技の普及發達の爲に必要な手段の採用
4. 全體に涉る字句の修正。

の項目で直ちに實施される、第 1 項は既に本誌第 10 號(昨年 2 月號)に豫告せられたる通りである。以下逐條的にその要旨を掲げる。頭書の番號は舊規則の條を示すもので新規則に於ても條項は前年のまゝを用ふる。

- (4) 競技者数の多き場合に組に分ちて競技を行ふ方法を廢止し一競技の参加者が多數となつた場合には規定飛と選擇飛とを分ちて競技することとした。

日本選手權競技に於ては規定飛の成績に従つて 7 名のみを選擇飛に出場せしめることとし之れを第 16 條の口項とした。飛込競技に於ける一種の豫選方法である。

- (17) 飛込競技審判員の數を 7 名とした。

FINA の規則に従つて 7 人制の審判方法を採用したのである。

此の爲め第 24 條の計算の方法が變つた。此の 7 人制の審判は主旨としては悪くないのであるが昨年度には尙ほ此の制度を採る機運に達してゐなかつた。競技役員の充實その他により本年より實施することとなつた。

附則は廢止され新に地方的小競技會に於ては 5 名の審判員による從來の審判方法をも認める場合あることを附則とした。

記録員を名とし新に通告員を 1 名設けた。

- (24) 計算の方法には大變更があつて次の意味に書き改められた。即、記録員は 7 名の審判員の評點中最高最低の點數各 1 を除き他の 5 つの評點の平均點を出し之れに難易率を乗じて得點を算出することに改められた。

之れによつて偏見、誤謬によつて起る採點の誤差

を除く目的である。

- (31) 飛込の通告を誤りたる場合の手續を明文とす

- (41) 水深は最小 3.5 米と變更された。

但し從來建設された水泳池で小競技會を開く場合には止むを得ず、3.0 米をも認めることとした。

- (43) 規定飛は初等競技を除いて全部變更された。

### イ、男子飛板飛込

- |    |                       |     |     |
|----|-----------------------|-----|-----|
| 1. | I—3 走前宙返一回(伸び切り型)     | 3 米 | 1.8 |
| 2  | II—9 後蝦飛              | 3 米 | 1.7 |
| 3. | III—15 走前踏切後逆飛(伸び切り型) | 3 米 | 1.9 |
| 4. | IV—18 後踏切前宙返一回(蝦型)    | 3 米 | 1.6 |
| 5. | V—25 走前蝦飛半回捻り         | 3 米 | 1.8 |

### ロ、女子飛板飛込

男子飛板飛込規定飛の第 1、第 2、第 3。

- (46) 飛板飛込表に 2、3 改訂のある他宙返りの回数呼び方を少し變更した。

即從來は 2 回半宙返りと稱へものは宙返り 2 回半と呼ぶこととなつた。例 走前宙返 2 回半、後宙返 1 回半、走前踏切後宙返り 1 回、後踏切前宙返り 2 回)

飛板飛込表中難易率の變更されたものがある。

- |        |                  |     |        |
|--------|------------------|-----|--------|
| No. 25 | 後踏切前逆飛半回捻り(3 米)  |     |        |
|        | 伸び切り型            | 2.0 | 蝦型 1.9 |
| No. 27 | 立前踏切後逆飛半回捻り(3 米) |     |        |
|        | 伸び切り型            | 2.0 | 蝦型 2.2 |

- (51) 規定飛の變更されたもの次の如し。

### イ、男子高飛込

- |       |                |      |     |
|-------|----------------|------|-----|
| I—1   | 立前逆飛           | 10 米 | 1.1 |
| I—1   | 走前逆飛           | 10 米 | 1.2 |
| II—9  | 後宙返一回(伸び切り型)   | 10 米 | 1.8 |
| II—13 | 立前踏切後逆飛(伸び切り型) | 10 米 | 1.9 |

### ロ、女子高飛込

- |     |                |      |     |
|-----|----------------|------|-----|
| I—1 | 走前逆飛           | 5 米  | 1.1 |
| I—1 | 立前逆飛           | 10 米 | 1.1 |
| I—1 | 走前逆飛           | 10 米 | 1.2 |
| I—1 | 後宙返 1 回(伸び切り型) | 5 米  | 1.4 |

以上の他は字句の訂正である。本文の改正に伴つて附圖中にも 2、3 の訂正があり、競技規定附則の飛込競技審判用紙にも改訂があるが省略する。

# 水球規則改正要旨

本年度水球規則の改正は主として従来国際水球委員会判決例として示されたるものを、其の儘原規則と併置する時は解釋を徒に難解ならしむる怖あるにより其等を原規則に補入し、或は全然原規則の更新されたるものは之を更改した。且原規則にて難解なりと思惟されたる事を、原文の意味の正確なる表現を基礎として平易なる字句に改めたり。又日本の事情により特に必要とせる字句の挿入をも爲し、我國事情に適する様補促爲したり。

従つて、昭和七年度規程に於ける 119 頁水球委員会判決例は何れも削除されたり。

## 第1條第1項

競技場は長さ 17.4 米乃至 27.4 米幅 18.3 米以下の矩形なり。ゴール、ライン (goal-line)。兩ゴールラインより 1.83 米 (2 碼) 距れる 2 碼線、及 3.66 米距れる 4 碼ペナルティー、ライン (Penalty-line) 並に各ゴール、ラインより等距離なる中央線 (Half Distance) を其の兩側に明瞭に標識し置くべし。

## 第3條第1項7行目

ゴール・ポスト及び……以下を削除し注意として本條末尾に附す。

第2項を第1項7行目に附す。

第2項として次の項を加ふ。

水泳池の底面以外ゴール、キーパーが休憩し又は立ち得る如き臺の存在せる場合は之を利用し得ざる様に移動せしむるか、又は斯くの如き場所を避けてゴール、ポストを立つるものとす。

## 第4條第5行

革の縫目を革の縫紐とす。

## 第5條第2項を次の如く變更す

兩ゴール、スコアラー (goal-scorer) は各赤旗一本を審判員は白旗、藍旗及呼笛を持つべし、之等の必要品は總べて招待側の競技團體にて用意すべし。

## 第6條 注意として次の文句を挿入す

注意 人員に餘猶ある時は一名以上の記録員を任命すべし。記録員は競技の経過及結果を記録しこれを主催團體に報告すべし。

## 第7條 1. 6項中不公正とあるを不正とす。

2. 但書末行、彼が水泳を去る時まで延長せらるるを「彼が水泳池を去る時まで及ぼさる」とす。

3. 注意 1) 第2句、「但しその變更は再び競技が始められる前に聲明せらるることを要す」とあるを「但しその變更は引續き競技が進められる前に聲明せらるることを要す」とす。

4. 注意 (1) 第4行、「競技が公正な終結に」を「競技が順當なる終結に」とす。

5. 注意 (2) 第2行、「敵チームの勝とす」を「相手方の勝とす」とす。

6. 注意 (3) を次の如く變更す。

(3) 審判員は反則宣言を爲す時、反則ありたる側に有利なりと考へたる時はその宣言を爲さざる事を得。

## 第8條 次の如く變更す。

抽籤によりて受持端を選びたる、ゴールコフアラはゴール、ラインの側方延長線上に立ち自己の受持端に於てのみ、ボール全體がゴールポストの門を完全に通過せるか、又はゴールラインを越へたりと思惟せる時旗を揚げて之を審判員に合圖すべし。ゴールスコアラーは一本の赤旗を以て 2 碼線を指示してコーナースローを、競技場の中央を指示して得點をゴールを指示してゴールスローを表示すべし。ゴールスコアラーは端を交替せずして其の受持端に於て其のゴールに於ける各チームの得點を記録すべし。

## 第9條 第1,2句を次て如く變更す

計時員は秒時計及呼笛を使用すべし、之等は招待側の競技團體にて用意すべし。

第13條 1. 第1行、「所屬ゴールラインに接して並ぶべし」を「所屬ゴールラインに並ぶべし」とす

2. 第6行、弧内、「競技者が手頭より先にて」を「競技者が手掌にて」とす。

## 第15條 K項、L項を次の如く變更す。

K. ゴールキーパーが自己のゴールの四碼線より出ること及ゴールスローを適法になさざること (第20條参照)

L. フリースローの際敵ゴールキーパーに對し又は敵ゴールの二碼線以内に居る味方の競技者に對して直接又はドリブルしたる後に投球すること。

## 第16條 A. b. C. を次の如く變更す。

A. 次掲の如く故意に時間を消費すること。

(1) 再開の際普通の速さにて出發位置に戻らざる場合。

(2) ボールを持ちたる又は支配せる際競技の正當なる進行を爲さざる場合。

B 敵ゴールの二碼線以内に入ること(留るも又然らざるも但し次の場合は差支へなし。

- (1) ボールをドリブルしつゝあるとき。
- (2) ボールを受け又は受けんとする敵にタックルする爲に行くとき。
- (3) ボールが二碼線以内にあるとき。

敵にタックルする爲には他の正當なる目的の爲敵方の二碼線以内に入り居たる競技者は目的消滅したる後は速に其處より出ざるを要す。

若しもボールが斯る競技者が未だ二碼線内に居る間に外よりパスし返へされたる時は其競技者は其のボールをプレー(Play)するより以前に先第一に二碼線より外へ出でざるべからず。

C. 審判員が競技中止の呼笛を吹きたる時より、引續き競技が進められる迄の間に競技者が故意に各自の位置を變更すること。

- 第17條** 1. 第1項第4行、「ボールがフリースローを」を「呼笛よりボールがフリースローを」とす。
2. 第1項第6行 審判員の意見により、フリースローは、スローを爲す者の……」を「審判員はフリー・スローをなす者の……」とす。
3. 第3項第4行弧内「即手頭より先の部分にて……」を「即手掌にて……」とす。
4. 第4項第3行「即呼笛の吹かれたる處」を削除す。
5. 第5項として新に次の文句を挿入す。

フリースローを爲す者に相對する競技者は其のフリースローを妨害すべからず。

**第18條** 1. 第5行「審判員の合圖の……スローを爲すべし」を「審判員の合圖の笛を待ちその笛聲により直ちにボールをゴールに投ずべし。」トス。

2. 第6行「彼がゴールに向つてボールを投げたる時」を削除し、「此際」を加ふ。

3. 8行「此場合ボールが……」を「ペナルティースローの場合はボールが……」とす。

4. 本條末尾に次の一項を加ふ。  
「ペナルライースローを得たる競技者がペナルティースローを適法に爲さざりし時は是に近き相手方にフリースローを興ふ。

**第19條** 1. 第1. 2行を次の如く變更す。  
ゴール・キーパーは自己のゴールを固守すべきも中央線を越へてボールを投ぐる事を得ず。

2. 第5項第4行「他の普通の競技者と同様にして」を削除す。

**第21條** 1. 第9行「然る後に於て」以降を「然る後に於て二人以上の競技者に取扱はれたる後に非ざればゴールするも得點とせられず。」

2. 第2項第1句を「若しボールが水面上の手摺、笠石又は水泳池の側壁に當りたる後」とす。

3. 同項、第1句を「ボールが當りたる處の直下の水面に落ちたる時は競技外とするに及ばず」とす。

13. 第121頁競技の延長を附則として規則末尾に附す。

## 日本水上競技聯盟昭和八年度日程

7月	24—26日	東部高等學校水上競技大會	神宮プール	夜	間
	29・30日	關東選手權水上競技大會	神宮プール	夜	間
8月	12—14日	日本選手權大會兼第十回極東大會第一次豫選	神宮プール	夜	間
	19・20日	東部及西部中等學校大會	神宮・大阪	夜	晝
	23日	東西中等學校對抗水上競技大會	大阪築港	晝	間
	27日	東西中等優勝校對抗競技大會	大阪築港	晝	間
	30・31日	關東女子競泳大會	神宮プール	夜	間
9月	3日	尙中部、關西女子競泳大會も同上期日に行ふ豫定	名古屋新設	晝	間
	15—17日	全國學生水上競技大會	神宮プール	晝	間
	23—29日	全國學生水球秋季リーグ戦	神宮プール	晝	間
	23日	全國學生飛込競技大會	神宮プール	晝	間
	30日	神宮體育大會水上競技	神宮プール	晝	間
10月 12月	1日 ヨリ	極東大會準備合宿練習	未	定	



指導欄

水球・飛込

(1) 水球の研究(その二)

時 任 巖

(オリンピックを中心として)

團體競技論

團體競技と個人競技の間には根本的差異ありと云ふ事も出来るが又或る見方からすれば全然同じであると云ふ事も出来る。即ち團體競技の理想は五人なり十人なりのチーム・メイトが相互に完全なる有機體としてプレーするにあるのであつて、チーム中の個人は人體に於ける手足の如く總體の完全なる動作を完成するためにのみ行動するのである。この意味に於て團體競技の各個體の動作の綜合が個人競技に於ける個人の動きに對するものと云ふ事が出来る。従つて個人競技に於て種々の技が必要であるならば團體競技に於てもこれに對するもの、即ちメンバー相互間の統制ある動作即ちフォーメーションの必要は當然であり、個人競技に於て手足その他の動作を統制する腦髓があると同様に團體競技に於ても同じく統制機關たるコーチ、或ひは監督が必要でなければならぬ。そして個人競技に於けるコーチは外部よりリヂェストするに過ぎないが團體競技に於けるコーチ、監督は人體の腦髓そのもの、如く統制機關そのものである點、個人競技のコーチとは性質を異なるのであつて又良き腦を持たざる好選手の存在し得ないと等しく能力あるコーチのない所には好チームの出現は望まれないのである。

我が國水球の實力を世界的のレベルに進めるためには斯技の普及或ひはプレーヤーの體格の向上等根本的問題が多く横つてゐるが眞に技術に對する理想と目標を持ち、それに向つてチームを導き訓練し得る良きコーチの數多く輩出せしむる事も甚だ重要である事に注意しなければならぬ。プレーヤーのみ

が唯だ集つて莫然と氣の向くまゝの練習してゐるのでは斯技の眞の向上發展は決して望まれない。

隆盛を極めてゐる野球、ラグビー等の團體競技に於ても知識の豊富なる監督、コーチの嚴格なる訓練指導によつてはじめて現在の如き技術の向上と普及發達があつたのである。他の競技の例はしばらくおくとしても歐米に於ける斯技の状態を見る時に明かにこの問題を説明してくれる。即ち去るオリンピックに於ける洪・獨・米・伯等いずれも專任監督を有せざりしはなく獨りこれを有せざりしは我等のみで各チーム共その統制の下に整然たる練習を行つてゐたのは尙ほ記憶に新である。ハンガリーの強味は彼等の誇とする不世出の名監督カムジャデイ氏の該博なる知識と嚴格なる訓練によるものでメンバー個々がいずれも世界有數の名選手なるにかゝらず尙ほコーチの命令は總て服従するコーチへの信頼と強き研究心が彼等獨特のタクテックスの完成となり燦然たる覇業を成就せしめたのであるとは彼等自身の語る所であつて、實にその練習の整然さは見る者をして胸のすく思をさせる程見事なものであつた。我々は良きコーチの出現を待望すると同時に又ハンガリー選手の如き如何なる名選手となつても尙ほ飽く事なき強き研究的態度とコーチの技術上の意見には無條件で従ひ腹するコーチへの絶對的信頼と謙讓なる心掛とは水球のみならず總べての團體競技に缺くべからざる條件である事を知るのである。我々はハンガリー・チームには技術上のみならず精神的にも斯かる重要な美風を有してゐた事は注意すべきである。そして日本選手にもハンガリーの如きコーチに

對する服従の美風を益々助長せしめたいと同時に斯技に對する該博なる知識と技術上の高き理想を有し、この目標に向つてチームを訓練して行き得る能力あるコーチの數多く出現する事を切に希望せざるを得ない。一定の目標なしに唯だ練習せしむるのみではたとへ強きチームを作り得たとしきも良きコーチと云ふ事は出来ぬ。現在この技術の練習が不足してゐる。今度はこれこれのタクテツクテを完成せしめよう」と云ふが如く常にある目標を以て、自己の理想に向つてチームを組み立て、行ける所謂組織的能力が團體競技のコーチとして最も必要な條件なのである。

タクテツクス或ひはフォーメーションの必要については前に一寸述べたが、これも今後に残された重要問題である。技のない所に柔道がないと同じく、タクテツクス、フォーメーションのない所に團體競技は有り得ない。球が飛んで來た故に近くに居る敵と競合つて、これを取り、敵に壓迫された故に苦しまぎれにどこかへパスし、その内に幸運にもノーマークでボールを得たので素早くシュートした所が得點出來たと云ふのでは單なる球遊びであつて、そこに團體競技としての價値と興味は少しも見られないのみでなく、チーム・メートは自己が球遊びを楽しむための單なる方便或ひは道具になつてしまふのである。眞の團體競技はチーム・メート全部が斯くなさんとする共通の意志の下に相互の動作を了解し合ひつゝ一定の目標に向つて各自のポジションに於て各自の能力の最大限度を發揮する所に始めて團體競技としての興味が起り價値が生じて來る。タクテツクス、フォーメーションとはこれである。故にタクテツクス、フォーメーションのない所には團體競技は有り得ない。そしてこれはプレーヤーならざるコーチ或ひは監督によつて計劃され指導されなければならぬ。何となればプレーヤーは自己が忠實なプレーするためには他を顧みる餘力なき筈でチーム・メート及び自己の眞の特徴缺點の總てを大局より判斷する事は不可能であり、従つて最も微細な點にわたつて正しく判斷し策戦をこらす事は困難な故である。又プレーヤーによしこの組織的才能あるとしても、コーチとプレーヤーの兩方面を同時に完全に果たす事は、人力の範圍内では到底不可能な事であるから、眞によきチームを作るためにはプレーヤー以外の方がコーチの任に當る事が必要になるのである。そしてプレーヤーは腦髓に對する手足の如く技術上の事は總べて絶対にコーチを信賴して服従すべきである。斯くしてこそプレーヤーの能力も最大に發揮さ

れ、コーチの意圖は圓滑に遂行されて合理的なるタクテツクスは眞の威力を發揮し得るのである。

試合は戰である故に統制が何よりも重要である。そしてこの統制は合議制では眞の能率を擧げる事は出来なく従つて團體競技に於ては眞の統制を保つためには命令が一途より出るのでなければ十分の効果を望む事は出来ない。「舟頭多くして舟山に登る」の如きでは、そのチームは決して優秀なる成績を擧げる事は不可能である。團體競技に於ては數多くの良策の間に迷ふよりも一貫した凡策に突進む方が成功への近道である事を知らねばならぬ。

去るオリムピックに於ては我々は度々洪獨の巧妙なるタクテツクスに乘ぜられながら、試合數が少なかつたために具體的な動き方については知る事が出来なかつたのは遺憾である。

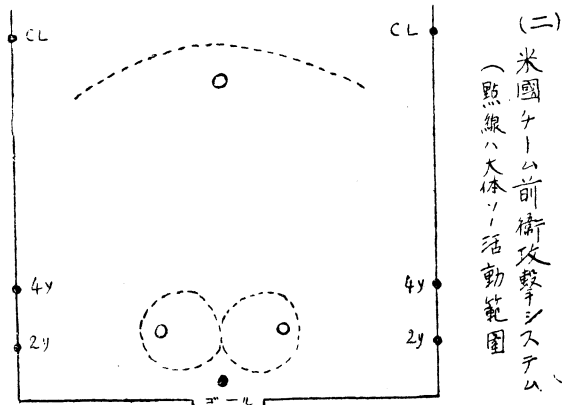
然し今後斯技の益々普及發達するに連れて良きコーチも輩出し従つて我々日本人に適合したタクテツクスの數多く案出されるであらう事を信ずる。フォーメーションは個人技術の特徴を益々活かし、缺點を互ひに補ふ故、個々力量の總和より遙かに大なる力を發揮し得るのみでなく、又合理的なるコンビネーションを養ふ近道なる事に注意しなければならぬ。事實フォーメーションは型そのままで成功する事は甚だ稀なのであつて寧ろその變形或ひは應用によつて効奏する場合が多い。そしてその練習中にチーム・メートは相互にその癖を了解する事が出来、又共通した合理的な動きを學ぶ故にコンビネーションの完成を早めるのである。自由奔放なプレーは有要であるが、これはフォーメーション、タクテツクスの内に織込まれて始めてその威力を發揮するが如きものでなければならぬのであつて、若しもこれを無視し他のチーム・メートの動きを阻害するが如きものであるならば、それは無益どころか有害である。眞の自由奔放なプレーはフォーメーション、タクテツクスの中にあつてこれを活かすものでなければならず、又良きフォーメーション、タクテツクスは自由奔放なプレーによつて益々その威力を増すが如き融通性に富んだものでなければならぬ。

### 團體攻撃システム

第十回オリムピック水球に於て歐米諸チームと我々と異つてゐた點は彼等どのチームも共通して一名或ひは二名の停止前衛を有してゐた事である。我々のこれまでの概念から云ふならばフォワードとは必ず泳の速い者、そして泳ぎまわしてガードを離すものと考へてゐた。然るに先進諸チームはその採用するシステムに依つて多少その役目こそ異れ必ず泳

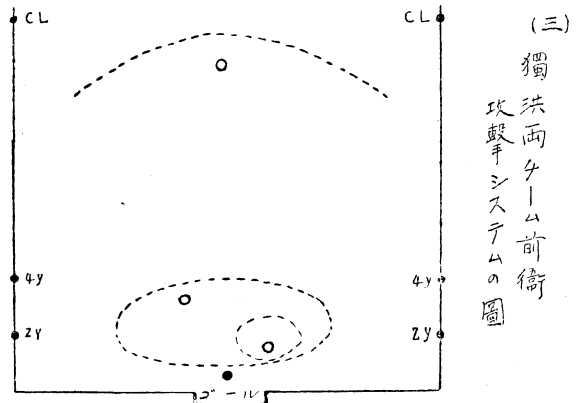
がざるフォワード即ち停止前衛を有してゐたのである。この前衛は敵ゴール前二碼の邊にフロートしてゐて味方がドリブルして來る時に多少移動してこれと策應する外球が來ても殆んど動かさず或ひはタツクルに耐へつゝ強引にシュートし、或ひはダツシュして來る味方に球をパスするのを役目とし、シュートする時に餘りゴールに近い故にキーパーが全然役に立たない點に長所を有する。そして鋭い出足の外泳ぐ要は殆ど少ないためとタツクルに強くなければならぬ必要から體格は偉大で重量はあるけれども泳のスピードはチーム中で最もおそい肥大漢がこの位置につく傾向が多かつた。停止前衛たるの最も重要な條件は前記の外にハンドリングと判断の良い事が必要である。扱て各チームはこの停止前衛を如何に活用し、或ひは活用せんと心掛けてゐたであらうか。實に停止前衛は歐、米諸チームにあつてはチーム攻撃の核心をなすものであつて、或る時はゴール・ゲッターとなり、或る時はチャンス・メーカーとなつて總ての攻撃は停止前衛を中心として行われる。故に各チームの停止前衛活用法を研究する事は即ちそのチームの前衛攻撃システムを知る事になると云つても過言でないのである。説明の便宜上停止前衛ならざる他の泳ぎ廻る前衛を遊弋前衛と名付けておく。

米國チームのフォワードは二名の停止前衛と一名の遊弋前衛とを有してゐた。そして二名の停止前衛は左右ゴール・ポストの前二碼の邊りにフロートしてゐてバックよりのパス、或ひは遊弋前衛が縦横に暴れまわつて供給する正確にして豊富な送球をタツクルされながら強引にゴールにたゞき込むのであ



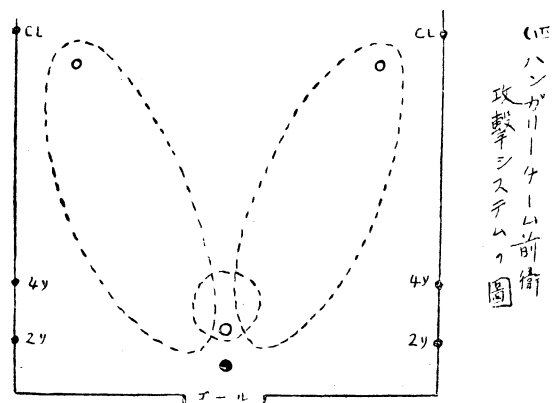
る。一名の停止前衛は時々ゴール前三四碼を泳ぎまわる事もあつたが大體に於てゴール前に停つて強引にシュートしようとする意志が強く見受けられ、従つて米國チームの攻撃システムは、遊弋前衛の止まる事なき巧妙にして精力的な動きに、學ぶべく味ふべきものを見出したに止まり、何等面白味なき全然理詰な所のないものであつた。

獨逸とブラジルの探つてゐた攻撃システムはその巧拙に甚たしき差こそあれ、作さんとする意志に於ては大體に於て一致點を見出す事が出來た。即ち各一名づゝの停止前衛・遊弋前衛の外に兩者の中間に行く中間前衛とも名付へべきものを有してゐたのである。即ち遊弋前衛が全フィールドを泳ぎまわつてパスする事には變はないが中間前衛が停止前衛のまわりの小範圍を泳ぎまわつて或る時は強引にシュートし、或る時は停止前衛に送球してこれと策應すると云ふシステムである。このシステムが米國チームの



それより進歩してゐたと思われる點は停止前衛と中間前衛が必ずしも米國チームの如く強引にのみシュートせず相互に策應してパスを交換し、兩者の間に味ふべきコンビネーションの見られた點である。

然らばハンガリーは如何と云ふに、このチームは前三者と全然異つたシステムを採用してゐた。即ち一名の停止前衛と二名の遊弋前衛を有し、停止前衛はガードがゴール前のシュートを恐れて上に注意してゐる逆を利用して keyman の役をつとめパスの中繼者として兩側の遊弋前衛をダツシュせしめて、これにパスを供給し、前衛攻撃の中樞として味方攻撃をリードしてゐた點は實に翫味すべきものがあつ



た。然もハンガリーの停止前衛は獨逸のそれと同じく必要な時は強引よく獨力でゴールを陥入るゝの技術と強さを有し味方の正確なるパスを利用してガードがパスの妨害に行けば巧妙なる relay shot. 水に球

を落さざる手から手への素早きシュート等にて脅かし、ガードが上に注意を引かれた時に前或ひは横にボールを落して一二米の鋭いドリブルで相手を離して悠々ゴールを狙つてシュートし、或ひはタックルされながら球を内側に弾き込むでガードの逆モーション突くなど、宛然後に目のある如くガードの最も都合悪るき所のみを突かれるので我々は應接に迷つたものである。然も斯くの如き素晴らしき技術を有しながらこれを亂用せず、より多く團體的コンビネーションに頼る所に彼等の強さがある。

斯くの如く各チームの攻撃システムを考察する時はやはり優勝したハンガリーのそれが最も科學的にして合理的なるを認めざるを得ない。何となればゴール・ゲッターとして最も位置的に好都合なる停止前衛をして敵の意表に出で、パスの中繼者たらしめ主に key man として活躍せしめる所に始めて他の前衛の適接なる策應が生じ、あの様な數多くの圓滑なるパスが交接されて相手を眩惑せしめ、何の無理もなく得点を重ね得たのである。又一面相手ガードがそのパスを妨害に行くために必ずシュートに對する防備の疎かになる時があるため他チームに比して三度に一度試る停止前衛直接のシュートも又相手の意表に出ざる結果となり、球を持てば必ずシュートせんとする獨米の前衛よりも數こそ少なけれ最も有效なるシュートをなし得たのであると思ふ。

バックマンのダッシュ、ドリブルより始まる攻撃法に於てもハンガリーのそれが最も機宜に適してゐる數多く獨逸は可成前者に劣り、米、伯はバックのドリブルより機會を作らんとする意志が殆んど見られなかつた點より考へて各チームの採用する攻撃システムと、そのチームの強さとの間に離すべからざる關係のある事を知る事が出来る。

センター・ボールのフォーメーションは我々は數多く試合に接する事が出来なかつた故に具體的、人と球との動きについては學ぶ事が出来なかつたが、一致した點として感ぜられた事はセンター・ボールを取る際一人のみしかダッシュせず、他は左程急がずに順ぐりに出て來てその間に何らかのからくりがあつたのは確かだ。我々も數回引かゝり又彼等の得意のタクトックスとして説明する所であつたが遺憾ながら詳しい研究の出来なかつたのは既述の通りである。唯だ差し當り開始に際しての前衛全部が無益のエネルギーを浪費せず、その精力を寧ろ試合中に發揮せんとする傾向のあつた事、又敵ゴールに進む際に既にマークされた後はジグザグのコースをもつた事は甚だ惱された事で我々も直ちに採用する必要が

あると思ふ。

扱て前述のものに比較して現在まで日本の採つてゐるシステムは如何なるものであり、又今後如何なるものを採用するのが有利であろうか。これまでは我々は全然停止前衛を持つた事はなく前衛と云へば總べて遊弋前衛か左もなくば中間前衛であつたのである。昨年オリンピックより歸へつて後やゝ停止前衛らしいプレーをするフォワードもほつぽつ現れて來たが、その判断と動きは全たく未完成で寧ろ他の前衛の活動を阻害するが如きもの多く、全然今後の研究に待つより外はないのであるが、實は日本のこれ迄の水球とは遊弋前衛のみのフォワードとそれを追かけまわしてタックルするバックワードのみの水球であつたと云つても過言でない。故に對等の場合は全員よく動いてなかなか興味深くゲームを見られるが一度び一方が落目となれば敵陣に止まつてシュートし得点するものなく全たく防禦にのみ奔命これ努める結果となる。日本の水球試合に零敗の多いのはこの故ではなからうか。そこで潜越ながら次のオリンピックを目指して我が國水球の採るべきシステムの試案を提出して見るならば、自分は獨逸のシステムを改良して、これにハンガリーの意志を加味したものが最も我々に適したものでないかと思ふ。即ち一名の前衛をゴール前にノロートせしめて或る時はkey manとしてパスの中繼をせしめて他の二前衛と策應せしめ、或ひは時に適切な機を撰んで強引にシュートせしむる事はハンガリーに倣ひ、一名を遊弋前衛として、全フィールドを泳ぎまはらせ、殘の一名を中間前衛とするまでは獨逸と同じであるが、これを停止前衛と策應せしめて、三者の間に適當なるスクリーン・プレーを織込む時には最も威力ある攻撃システムとなし得ると思ふ。

次にゴールキーパーより始まる攻撃法を研究する必要がある。これはスピードに自信を有した日本チームの最も慎重に研究して行つたものであつたが、力及ばずして残念ながら實用に供するを得なかつたものであるが、ハンガリー・チームの總得點の大半はこれによつて得られたものであつて、如何に有効なる攻撃方法であるかを察する事が出来る。敵のシュートせんとする時、或ひはキーパーのボールに手をふれようとした瞬間は、味方にとつては重大な危機であり、敵前衛は必ず味方バックの内側に入り或ひは入らんと努力してゐる時である。

この時に敵のシュートが味方キーパーに依つて止められ或ひは他の事情で突然味方ボールとなつたな

(26頁へ)

一、飛板飛込臺 飛板飛込臺には1米と3米とあるが何れも飛板と之れを支へる臺とからなつてゐる。

### A 飛 板

長4さ米以上幅0.5米以上の弾性ある板でその表面には棕桐莖を敷く。

現在國際的に用ひられてゐる板は

長さ5米幅0.5米の直柁目の米松一枚板で厚さは7.6糎一端より2.4米の所から板の裏面を次第に削つて他の一端で厚さが3.8糎となるやうにする。(第1圖參照)

以上はFINAの競技規則に掲げられた要旨で此の國際標準型はアメリカの西部海岸に出來た飛板を基準として居りその設計者であるブランドステン(第八・九・拾回オリンピック大會アメリカ飛込ヘッド・コーチ)の名を取つてブランドステン板と呼ばれてゐるものである。然し日本に於て此のまゝの板を強いて用ふる必要はないので之れと同様な弾性を有する長さ4米以上幅0.5米以上の板であればよい。弾性さへ適當であれば木の板に限るのでなく鐵或は他の材料を用ひても差支へないのである。

今迄の我々の經驗から日本に於て最も適當であると考へられる板を説明する前にブランドステン板に就いて二三説明を加へておかうと思ふ。前にも述べた通り標準型の板は米國西海岸の巨大な松から切り出して作つたもので直柁目一枚板が自由自在にとれる。従つて飛板に作り上げた板を見ると全體の柁目の幅が殆ど同じで此の板を使つて飛んで見ても左右の處に受ける抵抗が全く同じである。又材料が豊富であるから充分精選した板を充分に乾燥して削るのであるから使用後に狂ひが來ることがない。私が桑港で此のブランドステン板の發賣元をしてゐる材木屋を訪ねた時、出來上つた板が凡そ五六十枚もづらつと並べて何時でも賣れるやうになつて居つた。此の板を一々試験して最良のものを買ひたいがと云ふとそれでは此處にある棚を利用して板を据え付けるから全部テストして最良のものを選んで呉れ此の他に二百板程ストックがあるがそれを全部出してもよいと云はれたのには羨しいのを通り越して日本を顧みて啞然としたのである。とに角此の様に豊富な材

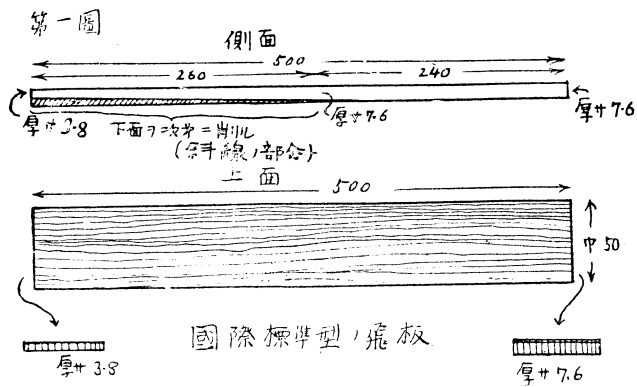
料を用ひてブランドステンがその經驗を傾けて作り出した板であるから成程國際標準型となるだけの價値はあるので實際に用ひて見ても亦甚だ適度の弾力を持つた板となつてゐるのである。

然し繰り返して云ふが必要なのは飛ぶに最も都合よい弾力なのである。一言にして云へば柔軟強靱とでも云ふか、よく撓つて而も強く弾ね返して呉れるやうな粘り強い板を必要とするのである。此のやうな弾力を作り出す爲めにブランドステンの設計した板の長さとの關係は木材を用ひる場合には大體に於て基準となるやうである。然し米松一枚板と云ふ條件は決して絶対に必要であるのではないので今まで我々が此の條件に合ふ板を日本で作つて色々な失敗をしてゐるのである。第一に米松の幅0.5米長さ5米の直柁目の板を手に入れることが中々困難である。第二に不十分な材料から取り出した板はその柁目が全部等しく通つてゐなくて幅の廣狹があり従つて板の左右の弾力が甚だしく異つてゐる。その爲此の様な板から飛ぶと身體が板の弾力の弱い側に斜めに飛び出す。第三に不均質な一枚板である爲めに板に割れ目の入ることが多い。

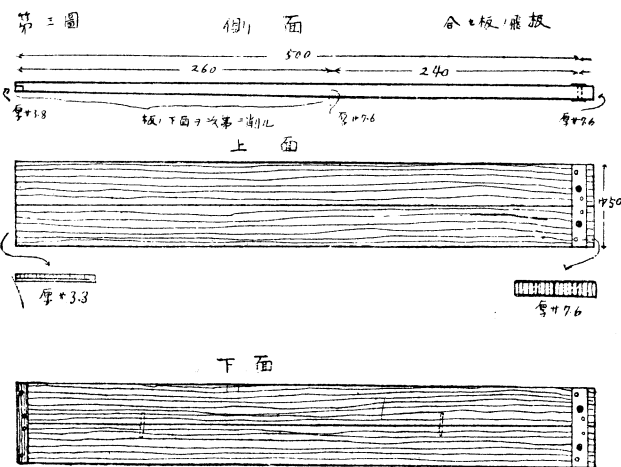
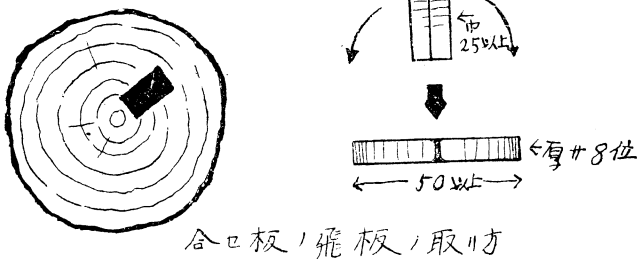
之れ等の缺點を除くには甚だ簡単な方法がある。即厚さ20糎位幅25—30糎位長さ5米餘の材木を厚さ10糎のもの二枚にはぎ之れを左右に開いて並べ此の兩端の下面に木又は薄鐵板をあてゝ木捻ぢで止め途中二ヶ所位に短い細い鐵棒を通して止め之れを所定の寸法に仕上げるのである。(第2圖參照)此の方法によつて前述の三つの缺點は悉く除くことが出来るのである。材料は米松に限らぬ。米繪臺灣檜がよく檜は最上である。

板の寸法も大體前述の通りであるが長さは約10糎長くして全長を5.1米位にし板の先端から丁度5米の所をボルトで臺に固定するやうにするがよい。厚さは飛板の生命である弾性に最も影響する所であるから出来るならば充分に經驗ある人の監督の下に削るがよい。板を寸法より少し厚めに削り之れを飛込臺にとり付けて弾性を試みつゝ適度の所まで削り落すのが理想である。たゞ此の削るに當つて忘る可からざることは常にその先端に行くに従つて次第に厚さを減ずることゝ板の中央部が薄くなつて居るのは絶

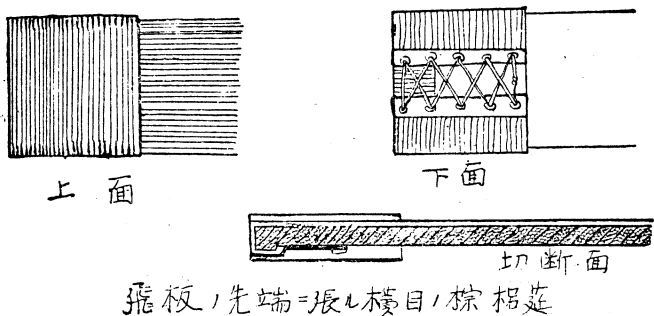




第二圖



第五圖



對によい弾力を得られるものではない。(第3圖参照)

此の様に削り上げた板を實際に用ふる場合にはその上面に全部棕栲蕈を敷くことが必要である。棕栲蕈は幅一米程の市販のものをスチープルで板に止めて居るのが普通であるが、此の方法によると板の上面だけでなく側面も被ひ更に下面にもはみ出して来る。所が之れは板の保存上及弾性の保存上甚だ良くない。棕栲蕈が水を吸ふばかりでなく板の濕氣を絶えず保存して置くやうになつて弾力を弱めるばかりでなく壽命をも短かくして居る。それ故理想としては幅50糎の棕栲蕈を板の上面にだけ張るのがよい。張り方も第4圖に説明するやうな方法が最も簡單で具合がよい。先づ長さ5.5米幅糎の棕栲蕈の一端を幅5糎程布で被ひ之れに直徑2糎位の鳩目を五つ程つけたものを用意する。此の棕栲蕈の鳩目を付けてない端を飛板の薄端の下面に木片を用ひて止め薄端から上面を次第に被つて行く。すると丁度厚端の附近に鳩目を附けた端が来る。そこで此の鳩目を通して豫め板の厚端に用意した環に綱で此の棕栲蕈を締め付けるのである。充分に棕栲蕈を伸張しさえすれば板の上面の部分は釘で固定する必要を認めない。又幅も必ずしも上面全部を被ふ程廣い必要はないので凡そ45糎位あれば両側に少し位のあきが出来ても差支へない。

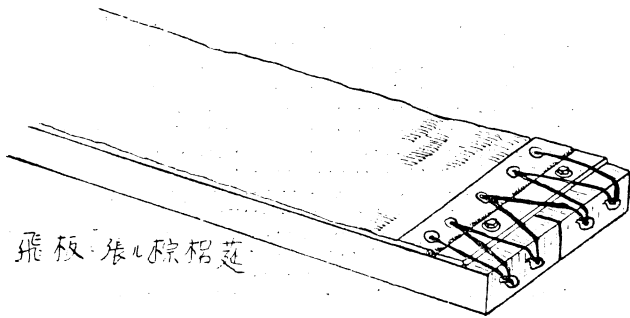
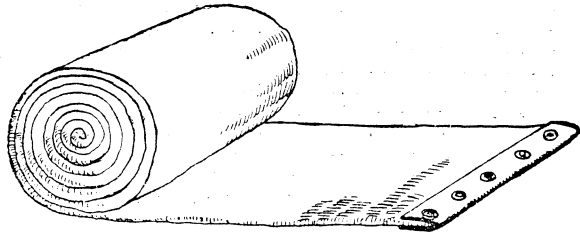
此の様な敷方は非常に簡單なばかりでなく板の乾燥にも都合がよい。

普通の棕栲蕈は飛板に敷くとその織目が縦になつて来るから飛込に當つて此の上を走る時往々にして滑ることがある。殊に濕つてゐる時に甚だしい。之れを防ぐには横の織目の蕈を用ふことが理想であるが最も滑り易い所だけに横の織目のものを重ねてもよい。一番滑り易い所は、板の先端で兩足を揃へて踏み切る所である。此處に長さ約50糎だけ横目の棕栲蕈を敷けば踏切に大變都合よくなる。又此の部分は一番磨り切れ易い部分であるから横目の蕈を重ねておいて切れたならばその部分だけを交換すると常に具合のよい蕈を用ふことが出来る。此の横目の棕栲蕈の取り付け方も長さ1米幅40糎の蕈の兩端に鳩目を着けておいて之れを板の先端に横に重ね下面で綱を鳩目を通して締め付けるやうにするのが最も簡單である。(第5圖参照)

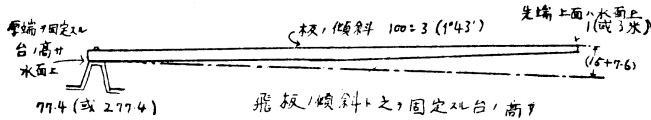
## B 飛板の取り付け方

飛板はその上面の傾斜が二度以下で先端の上面が水面上1或は3米になることが必要である。(飛込競技規則第三九條参照)

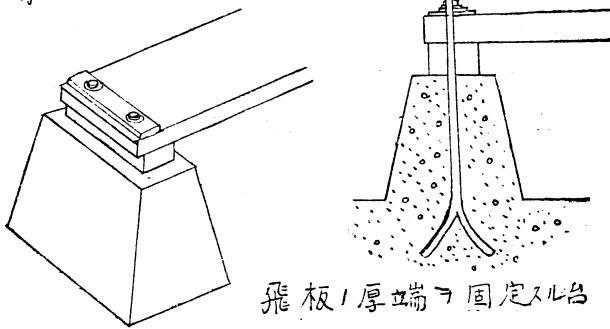
第四圖



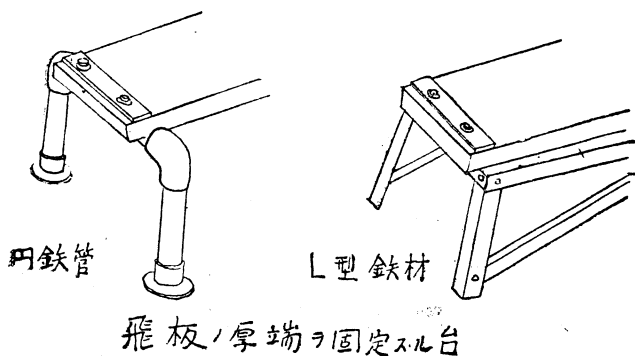
第六圖



第七圖一



第七圖二



飛板は少し先端の方が上つてゐる方が種々の飛込を行ふのに都合がよいのであるが餘り傾斜が強くなると飛込を行つた際身體が板の近く落ちるやうになつて危険である爲めその傾斜を二度以下と制限してある。板の傾斜を二度に保つてその先端を1或は3米にしようとするからその取り付け方が大分難しくなつて、今までの臺は大抵此の點で失敗して居つた。

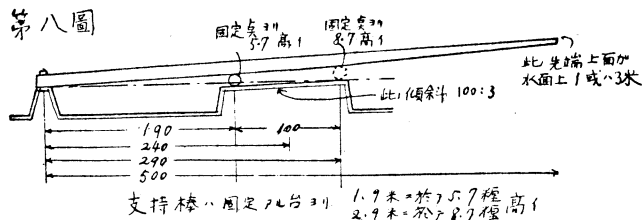
例のブランドステンの設計では厚端を固定し之れより 2.4米の所に板の下に直角に圓鐵管の支持棒を置き之れに板を載せその圓鐵管を前後に各50糎づゝ移動して弾力を調節するやうにしてある。之れが現在國際の標準型となつてゐるのである。然し之れには板の傾斜を一定にする装置は何等附して記ないので實際の設備に當つて甚だ困惑することが多く製作に失敗することが多いのである。そこで此處には先づ第一に板の上面の傾斜を二度となるやうにし又支持棒を前後に動かしても常に角度が變らぬやうにする設備を説明しやう。

2度は 1米に對して1糎の傾斜である。然し此のやうな細い數字では臺の製作に不便であるばかりでなく實際使用しても之れでは少し傾斜が強すぎる。2度は最大限を示して居るのであるから實際には 1米に對して3糎の傾斜(約1度43分)とするのが丁度都合よくなる。

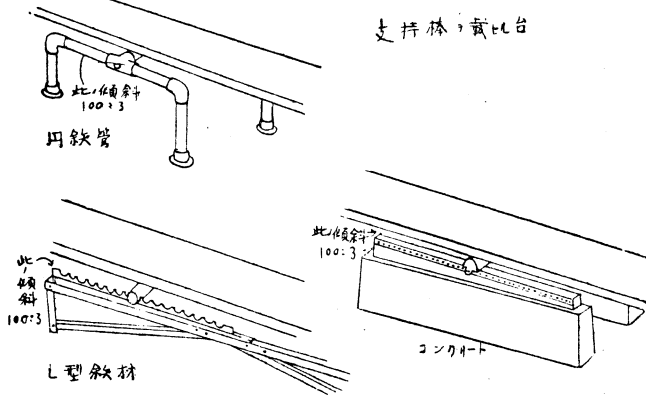
そこで此の傾斜を板に與へて然も板の先端が水面上1或は3米になるやうにする爲めには板を固定する臺を傾斜に對する高さ (5米に對し15糎)と板の厚さ 7.6糎を減じただけ低く即水面上77.4糎(3米に對しては277.4糎)の高さに作らねばならぬ。(第4圖参照)

板を固定する臺は飛板を取り付けるブールの規模の大小や周圍との關係によつて色々變るであらうが要するに頑丈なものでなければ役に立たない。圓鐵管を用ふるならば 7糎位の太さのものをしつかりコンクリートで固めるやうにしなければならぬ。此の固定する臺は單に上下の力を受けるばかりでなく色々揺れるものであるから基礎工事は思ひ切つて丈夫にする方がよい。簡単に頑丈な臺を作るにはコンクリートに越したことはない。コンクリートの臺の時は飛板を載せる所に木の座を置くと非常に具合がよくなる。(第7圖参照)

次は飛板の中央下部を支へる支持棒であるが、之れは國際標準型では固定點から 2.4米前に板に直角に圓鐵管を置き之れを前後に各50糎づゝ移動し得るやうになつて居る。それ故此の支持棒は板の強さに應じて固定點から 1.9米より2.9米の間に移動して最も適當な弾性を發揮さすやうにすることが出来るの



第九圖



(22頁より)

らば、味方バックがその瞬間に敵ゴールに向つてダツシュするならば易々とノーマークとなつて敵陣に殺倒する事が出来るであらう。この時バックマンの機に應じた突進とキーパーの慎重なる送球は危機を一轉せしめて直ちに最もよき攻撃機会となし得る。オリンピックに於けるハンガリー・チームの得点の大部分は斯くの如くしてバックのドリブルよりその緒を生じたのである。我々の目から見れば、寧ろ危険と思われる程で、敵の一人がシュートせんとする時に他のバックマンは既にマークを離してダツシュしてゐる程であつて、然もそれが見事に成功してゐるのである。成程他のマークがシュートしてゐるのに自己の相手を尙ほマークし續けてゐるのは無益かも知れぬ。寧ろ敵は離れようと努力してゐるのであるから、いつまでも付いて行かずキーパーが捕へてくれる事を豫想して直後に來る最も有効な攻撃機会のため敵陣にダツラユする方が有利かも知れない。それにしても我々は危険と思われる程適切にマークをやめてダツシュする timing を知つてゐた事はやはりハンガリーの長き水球の歴史が物を云ふのであろうけれども、この戦法はスピードあつても比較的體格的に恵まれぬ我々日本人には最も適した戦法であらうと確信する。そしてこの攻撃法に於て重要なのはバックマンの機宜を得たダツシュである事は勿論であるけれども、それにも増してキーパーの慎重なる、球の処理が必要である。

キーパーは軽くフェイントして delaying the game の犯則を注意しつゝ敵前衛のチャージを誘ひ、\*

である。此の移動の範圍は我々の經驗ではもう少し固定點に近く即ち固定點より 1.5米から2.5米の範圍が適當ではないかと思つて居るが之れは未だ確信を以て云ふだけの材料がない。

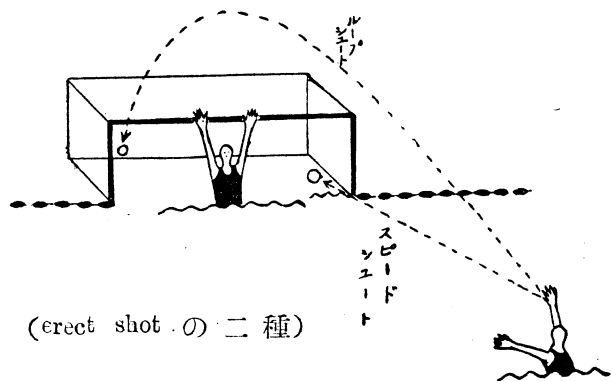
此の支持棒を移動しても板の角度を變へないやうにする爲めには、此の支持棒を動かす臺を1米に對し3種の傾斜に作つておけばよい。もつとも支持棒が固定點から 2.4米より先に行くと板の下面を次第に削つてあるから少し板の傾斜は減ずる。然し之れは極く僅かなもので問題とするに當らない。

今までの臺は此の支持棒の臺を傾斜させてなかつた爲めに支持棒を固定點の近くに移すと板の傾斜が急になり反對に支持棒を遠くすると傾斜が緩くなつてゐるのである。所で實際に問題として支持棒の高さは固定點から1.9米の所に於て固定臺より 5.7種、2.9米の所では 8.7種だけ高くなつて居ればよいのである。(第8圖参照)此の支持點の臺も圓鉄管を用ひても L型の鐵を用ひても木製のものでしつかり出來て居れば差支へない。たゞ支持棒は簡單でもよいかからその臺に固定しうるやうになつてゐないと板を踏む度に支持棒が動き出してしまふ。(第9圖参照)

それと此の臺に補強の爲めに横材を入れる場合に板の先端に近い方は低い所に架けないと板を踏む時に此處に板が當ることがあることを注意しなければならぬ。(續く)

\* 味方バックマンの形勢を十分に有利に導いてからカットされざる正確なループ・パスを送るのである。この際のキーパーの落付いたプレーは味方の動作を非常に容易にする。故にキーパーは味方ガードの最も都合よき點に無意識の内にも送球し得るよう味方ガードの癖をよく研究しておく必要がある。

前號第二十五頁左段の寫眞は印刷所の誤りで執筆者の用意された挿畫と異つて居りましたから、こゝに次の挿畫を入れて前號の缺を補ふことゝ致します。



稱讃措く能はざる、しかも忘れんとして忘れ得られざる貴國を去るに當り、日本水上競技聯盟並に日本水泳家諸君に、伊太利水上聯盟會長アルピナーティ閣下、同聯盟及び伊太利の熱心なる水泳同志に代つて、衷心よりの感謝の意と敬意を捧ぐるは私にとつて極めて喜びに絶えぬ義務であります。

日本の友人諸君の御親切を目的に當り體得した私としては、この感謝の念を表はすに最も適切な言葉を見出し得ない事を告白せねばならぬのであります。末廣、松澤、安部、田畑、藤井、齋藤の諸氏並に其他有能の同志諸君の全部は、永久に私には心からの知己として銘せられるであらうといふ事以外には申上げられないのであります。

全世界の驚異的讚美を喚び起した水泳上のあの赫々たる成功の秘訣を研究せんと、遙々伊太利から來朝した私は、あらゆる門戸を私の爲に開放して下さつた日本水上聯盟の御好意によつて、日本國民の正當なる怜持を形作りしかも我が友松澤氏の如き世にも勝れたる水泳上の適任者を得た日本水泳界の觀察力同化力、學理、慧眼、方法並に勇氣等の赫々たる力量に負ふべき技術と養成の卓越せる理由を確認する事が出来たのであります。

今日歐洲並にアメリカには立派な技術や卓越せる指導者や優秀な選手はあります。しかし、如何にして日本はかくも電光的にしかも團體的に力強い成功を収め得たのでありませうか。其處には未だ我々にとつて未解決な秘密が藏されてゐたのであります。

この秘密は私が日本の地を踏んで初めて、言はず語らずの裡に解きあかされたのであります。私は現代文明の偉大な作品と共に、過去の勝れたものをも眼の當りに見たのであります。教養された現代の心理の蔭に、幾千年來の根強くも侵し難い力を感じたのであります。

#### バルバツチ氏餘談

K. A.

先頃伊太利から水泳見學に來られたバルバルチ氏夫妻に吾が松澤主事が至れり盡せりの世話を焼かれた。松澤氏の親切は有名なものだが其れにしても少しおかしいと思つたら、何しろバルバルチ氏夫妻は兩方共マルマツチイ夫妻と呼ばれる位で夫君は百十五疔の肥大さ、其處で日頃大食が玉に瑕の松澤八十五疔氏、一緒に歩いて居る間はスラリと優男に見える(?)といふ根柢と解つて成る程。マルマツチイ氏の大きさを御覽にならなかつた人の爲めに具體的に

今日の最も進化した日本人各々の心の中に、古のサムラヒの君に忠なる雄々しくも力強い胸の鼓動を、私は感じたのであります。そしてたゞにスポーツ上の勝利のみならず、あらゆる點に於ての勝利の秘訣が太陽の燦然たる輝きを以て、私の腦裡を掠めたのであります。日本人は誠に無敵の國民であります。何んとなればスポーツを行ふ少年の心理にも、青年、兵士の心の中に於けると同様に、肉體と精神の健全と聰明とによつて個人的魂と民族的精神が常に燃え立つてゐるからであります。日本人は愛國心と家族愛の傳統が決して打破すべき陳腐なるものでなく、眞實にして活氣あり、尊くして代へ難き力であるといふ事を理解して居られるのであります。

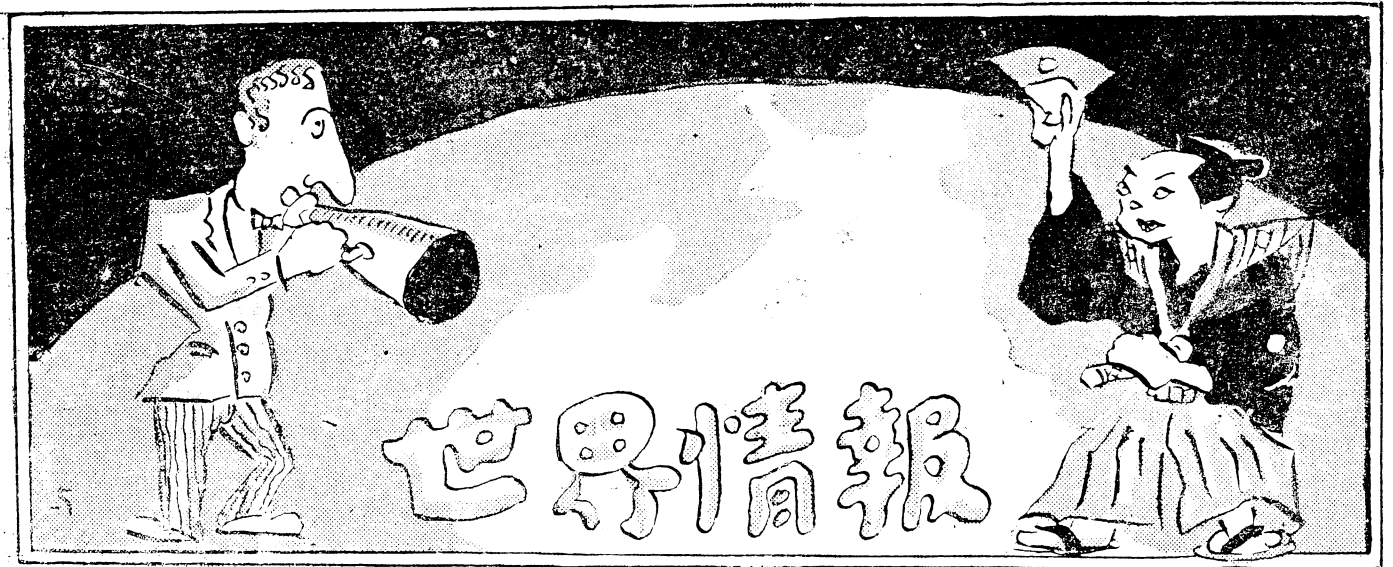
日本人と共通の傳統、榮譽、又不遇等幾多のものを有する伊太利人、殊に古きと新らしき力を再生し、旺盛たらしめ得る人物ムツソリーニ下の伊太利人には恐らく他の國民以上にそれ等を理解し、讚美して已まないのであります。

日本水上聯盟のわが友人諸君よ、これこそ最も美しく、又最も尊き秘密であるであります。そして私はこれを忘れ難き手本として故國に齎らし、常に我が伊太利の水泳者に思ひ起させるであります。かくしてこそ、伊太利の水泳者は、單に勝利といふ點に於てのみならず、美德といふ點に於ても極めて訓練あり、中庸あり且つ優秀なる日本選手諸君と競技するに必ずや努力を拂ふであります。古代ローマの美德にも亦、價值あるものがあります。

私は皆様が贈物として私に捧けて下さつたサムラヒの甲冑を大事に保存致しませう。そしてその外見的光輝以外に其處に包含される魂、輝かず、目には見えども、勝利を獲得せんと心がけ、しかも公明正大にそれを獲得せんとする精神をば、私は見る事が出来るであります。

御話すれば、以前オリンピックの時、伊太利チームがブレザーコート有名なデパートへ注文した。契約後バ氏とレツスリング選手某氏がが寸法を取りに行つたら其のデパートが注文を取消したさうだ。

扱其のバ氏歓迎會で記念撮影の段になり、末弘會長と並んだのは良いが、會長立つても立つても腰掛けたバ氏に及ばず、其他バ氏夫人松澤飯田其他の超弩級艦が並んだので、野村インターカレヂ氏は遂に半分寫眞の外へ押し出されて了つた。何か瘡せ藥があつたら、水上聯盟迄御報らせ下さい。



### 世界新記録四ツ

500米平 7:33.1 1月22日ブラウンシュワイクのプール(25米)で、獨逸平泳選手パウル・シュワルツは、500米平泳に7:33.1の世界新記録を作り、ラインゴルトの有する公認記録 7:36.8を破つた、又同日、同所で彼は400米平泳に6:00.1の獨逸新記録を作つた。

500碼自 5:31.2 昨夏オリムピックで活躍した米國少年ラルフ・フラナガンは4月14日、マイアミで行はれた大會の500碼自由形に5:31.2の新記録を作りアルネボルグの5:31.4を久し振りで更新した。

200米平 2:43.6 500米平泳に世界記録を作つた、ゲツピンゲンのパウル・シュワルツは、又、200米平泳に於てもジータスと競つて、2:43.6の新記録で優勝した、2着のジータスは2:47.0シュワルツの活躍は注目値する。

女200米自 2:28.6 和蘭の少女、ウーリー・デン・オウデンはロッテルダムの子水泳クラブの大會で200米自由形に、2:28.6の驚異的大記録を出現した、公認記録はマヂソンの2:34.6である。

#### ラツプタイム

50米 32.0秒 100米 1分7秒8 150米 1分51秒0

尙同大會に於て、同クラブチーム(チンメルマンズ、パウマイステル、ブラウウエルズ、デン・オウデン)は400米リレーに於て、4:52.8の好記録を作つた、此は、歐洲のクラブレコードとして最良のものである。

### ハンガリー水上競技聯盟新會長

洪牙利水上聯盟會長といふよりも、水球のコーチヤとして世界的に有名であるコムヂヤデイ氏が逝去したので5月7日、後任として、ラデイスラウス・ボロギー博士が任命された。又、水球部はステファン・ヨナス氏が受持つことになつた。

### 最近の獨逸水上競技界

歐洲で最も均衡の取れた實力を有するのは、獨逸であるが、1936年の伯林大會を目標にして盛に活躍して居る。即ち、昨年末から本年4月末迄に改良された獨逸記録は、

100米自由形	0:59.6	デリクス	25mプール
200米	2:16.1	ダイテルス	"
300米	3:36.2	ダイテルス	"
400米	4:55.6	ダイテルス	"
500米	6:19.2	ダイテルス	"
200米平泳	2:45.2	シュワルツ	"
400米	6:00.1	シュワルツ	"
500米	7:33.1	シュワルツ	"

### 和蘭對丁抹水泳大會

4月中旬、コペンハーゲンで行はれた和蘭對丁抹の大會は 28.5對22.5で和蘭が勝つたが、男子が貧弱であるのに反し、女子は世界一流所が出場し、女子記録が續出した。

#### 第一日

女子100米平泳	1:27.0	ヤコブセン	(丁)
女子100米背泳	1:23.6	オベルスロート	(和)
女子100米自由形	1:11.7	ラツデ	(和)

#### 第二日

女子200米平泳	3:10.8	カスタイン	(和)
	3:11.1	ヤコブセン	(丁)
女子200米自由形	2:40.6	ラツデ	(和)
	2:41.5	オベルスロート	(和)
	2:51.0	アンデルセン	(丁)

### 獨・和・丁國際水上大會

2月始め、コペンハーゲンで舉行した國際水上大會の主な記録は下の通りである。

第1日

女子100米平泳	1 ブラウウエルス(和) 1:27.5
	2 ヤコブセン (丁) 1:28.0
女子100米自由形	1 デンオウデン (和) 1:07.0
	2 アンデルセン (丁)(歐洲新)
女子100米背泳	1 デンオウデン (和) 1:22.4
	2 アンデルセン (丁) 1:28.8
男子200米平泳	1 ジータス (獨) 2:50.4
	2 マルムストリヨーム (丁) 2:55.5 丁新

第2日

女子200米平泳	1 ヤコブセン (丁) 3:10.0
	2 ブローウエルス(和) 3:13.8
女子100米背泳	1 デンオウデン (和) 1:21.2
	2 アルデルセン (丁) 1:29.6
男子400米平泳	1 ジータス (獨) 6:07.3
	2 マルムストリヨーム (丁) 6:09.5

**タリスの元氣** 4月始め、バリーのピスシーヌ・ド・ラ・ハール・プール(50m)で行はれた、對ケルンスバルタ戦に於て、タリスは200米自由形を2:14.4で泳いだ、2着は獨乙の雄ダイテルス(タイム 2:22.0)である、タリスのラップタイムは下の通り、  
50m 30.0秒 100m 1分3秒 150m 1分40秒

**全米女子室内選手権大會**

全米女子室内選手権大會は 8月末バツファロに於て4日間に亘つて舉行された此の會で活躍したのは、レノアー・カイトで前年マヂソンが保持した選手権を殆ど掌握してしまつた。

100碼自由形

1 カイト(バツファロ、ホームステッド) 1:03.4
2 ブリツヂス

200碼自由形

1 カイト(バツファロ、ホームステッド) 2:42.0
2 ロバートソン(ニューヨーク)

500碼自由形

1 カイト(バツファロ、ホームステッド)
(記録不明)
2 ロバートソン(ニューヨーク)
3 ピーリー(トロント)

100碼背泳

1 マクシーコー(ニューヨーク)
2 リンドストローム(ニューヨーク)

100碼平泳

1 ホツフマン(バツファロ、スタラントン) 1:21.4
2 ロールス(フロリダ)
3 ペトリ(ニューヨーク)

300碼メドレー

1 ロールス(フロリダ)	4:14.4
2 スミス(インディアナポリス)	
3 マクシーコー(ニューヨーク)	

300碼メドレーリレー

1 紐育女子水泳協會	3:45.0
2 カーネギー・ライブラリークラブ	
(バツファロ)	

飛板飛込

1 ロールス(フロリダ)	109.5點
2 ボイントン(羅府)	
3 カールソン(ニューヨーク)	

高飛込

1 ボイントン(羅府)	115.31點
2 ロールス(フロリダ)	110.22
3 カールソン(デトロイト)	108.79

**女子平泳の新人**

5月の始め、ライプチツヒに於て、ハンニ・ヘルツナーは100米平泳に於て1:27.2の女子記録を作つた、因に女子 100米平泳の世界公認記録はヤコブセンの1:26.0日本記録は前畑の1:27.6である。

**世界ベストテン**

獨逸のエルンスト・ホツフマンといふ水泳専門家が發表した、1932年度世界ベストテンをその儘轉載して見る、随分誤りの多い表で、400米に高石君が第4位を占めたりして御愛嬌だが、これに依つて獨逸が如何に日本の世界制覇に驚異を感じてゐるか分かる。

100米自由形

1 宮崎(日) 58.0	1 タリス(佛) 2:12.2
2 バラニー(洪) 58.4	2 コヂヤツク(米) 2:12.0
3 河石(日) 58.6	3 遊佐(日) 2:13.6
4 カリリ(米) 58.8	4 宮崎(日) 2:14.1
5 遊佐(日) 58.8	5 大横田(日) 2:14.6
6 高橋(日) 59.2	6 カリリ兄(米) 2:14.7
7 シュワルツ(米) 59.2	7 横山(日) 2:14.8
8 トムソン(米) 59.3	8 豊田(日) 2:14.8
9 スペンス(加) 59.3	9 志村(日) 2:15.2
10 デリクス(獨)	10 バラニー(洪) 2:16.0
志村(日) 59.6	グルート(瑞典) 2:16.0
豊田(日) 59.6	

400米自由形

1 シークラ(米) 4:48.4	1 北村(日) 19:12.4
2 タリス(佛) 4:48.4	2 牧野(日) 19:14.1
3 大横田(日) 4:50.4	3 クリスチ(米) 19:35.5
4 高石(日) 4:50.5	4 ライアン(濠) 19:45.1
5 横山(日) 4:51.2	5 シークラ(米) 19:45.6

1500米自由形

6	チャール(濠)	4:55.4	6	クラナガ(米)	19:53.1
7	ギルフラ(米)	4:55.4	7	石原田(日)	19:55.4
8	ダイテル(獨)	4:55.6	8	タリス(佛)	19:59.0
9	杉本(日)	4:56.1	9	チャール(濠)	20:03.7
10	武村(日)	4:57.0	10	杉本(日)	20:09.0
	ライアン(濠)	4:57.0		武村(日)	20:09.0

100米背泳

1	清川(日)	1:08.6
2	キユツベ(獨)	1:09.4
3	入江(日)	1:09.4
4	ゼーア(米)	1:09.9
5	河津(日)	1:10.0
6	ゲルバー(米)	1:11.2
7	カールソ(洪)	1:11.4
8	ナヤルマ(米)	1:11.6
9	鈴木(日)	1:11.6
10	ルンダー(瑞)	1:11.8
11	ドイツチ(獨)	1:12.0
12	フランシ(英)	1:12.2—1:13.0
	シュルツ(獨)	
	リヒテル(獨)	

200米平泳

1	スペンス(米)	2:44.0
2	カルト(佛)	2:44.6
3	小池(日)	2:44.9
4	シユワル(獨)	2:45.2
5	鶴田(日)	2:45.4
6	ジータス(獨)	2:46.5
7	イルデフ(比)	2:47.1
8	ウイツキ(獨)	2:49.2
9	アヂヤハ(比)	2:49.2
10	シエーベ(佛)	2:49.2
10	ヘイナー(瑞)	2:50.7

200碼平泳

1	サーベル(エール)	2:32.6
2	ホーン(ノースウエスタン)	2:34.6

300碼メドレーリレー

1	ノースウエスタン	3:05.4
2	エール	3:06.4

高飛込

1	デゲナー(ミシガン)	1:28.94
2	ウイラード(ノースウエスタン)	96.24
3	ウイルキー(ノースウエスタン)	95.36

AAU 男子室内選手権大會

3月30日、31日、4月1日の3日に亘りて紐育アスレチック・クラブで舉行。

100 碼自

1.	W. スペンス	53.6
2.	シュワーツ	
3.	L. スペンス	
4.	ハイランド	
5.	フィツク	

豫選記録

W. スペンス	53.2
L. スペンス	54.1
シュワーツ	54.0

200 碼自

1.	フィスラー	2:13.6
2.	ウイゲット	2:16.8
3.	メデイイカ	2:18.3
4.	フラナガン	
5.	メイシヨニス	

豫選記録

メデイイカ	2:16.1
フラナガン	2:17.2
メイシヨニス	2:17.6
コンノリー	2:18.2
スペンス	2:18.4
ハブケ	2:18.6
シュミーラー	2:19.2

550 碼自

1.	フラナガン	5:37.1
2.	ウイゲット	5:38.7
3.	メデイイカ	5:39.4
4.	クリスチー	5:46.0
5.	メイシヨニス	5:50.1

150 碼背

1.	ゼーア	1:39.5
2.	チャルマーズ	
3.	ウイツクラン	
4.	バンドウエー	

220 碼平

1.	スペンス	2:45.9
2.	サーベル	
3.	レマツク	
4.	ホーン	
5.	カールラン	

300碼個人メドレー

1.	スペンス	3:42.3
2.	シュミーラー	3:42.4
3.	ヒツギンズ	3:51.8
4.	ハームス	3:51.8
5.	ロビンソン	3:52.5

400 碼リレー

1.	NYAC (I)	3:38.1
2.	NYAC (II)	3:45.6
3.	ミシガン大學	3:45.8

300 碼メドレー

1.	NYAC (I)	3:38.8
		(スペンス三人兄弟)
2.	ミシガン大學	3:37.6
3.	ドラゴン俱	3:13.0

4 呎飛板飛込

1.	デゲナー	140.33
----	------	--------

10呎飛板飛込

1.	デゲナー	161.75
----	------	--------

米國ナショナルカレヂエイト水泳大會

3月24日・25日、エール大學ペインホイットニー體育館プールで行はれた。ナショナル・カレヂエイト水泳大會の成績下の如し。

50碼自由形

1	トムプソン(海軍)	23.8
---	-----------	------

100碼自由形

1	スペンス(ラトガーズ)	52.4(70碼、25.0)
---	-------------	----------------

200碼

1	ウイゲット(スタンフォード)	2:16.0
2	ハブケ(エール)	2:16.6
3	デイトン(プリンストン)	2:17.8
4	クリスチー(ミシガン)	2:24.6

此のレースの豫選に於ける女子記録は

ハブケ(エール)	2: 4.6
----------	--------

150碼背泳

1	チャルマーズ	1:39.8
---	--------	--------

400碼リレー

1	ラトガーズ	3:39.4
2	プリンストン	3:39.6

440碼自由形

1	ウイゲット(スタンフォード)	4:58.4
2	クリスチー(ミシガン)	5:01.4

2. グリーン	121.56	2. ウェイン	151.04
3. ウイルキー	108.84	3. リングラー	135.94
4. リングラー	105.74	4. オスボーン	134.00
5. ジョンソン	103.25	5. グリーン	123.30
6. ロツコ	101.99	6. ジョンソン	114.56

### 西部インターカレッジ水泳大会

#### 100 碼自

1. ハイランド(ノース・ウエスタン)	53.2
2. フレッチマン(イリノイス)	
3. ブロック(イリノイス)	

#### 220 碼自

1. クリスチー(ミシガン)	2:21.8
2. ケネディー(ミシガン)	
3. ブロック(イリノイス)	

#### 440 碼自

1. クリスチー(ミシガン)	5:07.7
2. ケネディー(ミシガン)	
3. グローブ(アイオワ)	

豫選に於けるクリスチーの記録 5:01.4

#### 150 碼背

1. モールトン(ミネソタ)	1:43.5
2. バンガンデン(イリノイス)	
3. ハイネス(イリノイス)	

準決勝に於けるモールトンの記録 1:42.1

#### 200 碼平

1. ホーン(ノースウエスタン)	3:40.4
2. レマツク(ミシガン)	
3. ダイヤー(シカゴ)	

#### 400 碼リレー

1. ノースウエスタン	2:30.2
2. ミシガン	
3. イリノイス	
4. ミネソタ	

#### 300 碼メドレー

1. ミシガン	3:04.2
2. ノースウエスタン	
3. ミネソタ	

#### 飛板飛込

1. デゲナー(ミシガン)	140.02
2. バスビー(アイオワ)	126.40
3. ウイルキー(ノースウエスタン)	123.82
4. マロン(シカゴ)	123.46

### 東部インターカレッジ水泳大会

50 碼自	ブリック(ラトガス)	24.4
100 碼自	クレイマー(ラトガス)	55.4
440 碼自	スペンス(ラトガス)	5:04.6
150 碼背	チャルマーズ	1:42.0
200 碼平	ホワイト(ラトガス)	2:37.6

200 碼リレー	ラトガス大學	1:39.0	
飛込	アツシュレイ(ラトガス)	92.35	
得点			
ラトガス	41	ビッツバーク	21
フランク・マーシャル			11

### ニューイングランド・インターカレッジ水泳大会

50 碼自	レウイス	42.2
100 碼自	レウイス	53.8
200 碼自	リー	2:24.3
440 碼自	シルビヤ	5:26.8
150 碼背	ホワイト	1: 6.4
100 碼平	メルツ	2:41.5
300 碼メドレー	ブラウン・チーム	3:15.8
200 碼新人リレー	スプリングフィールド	1:42.8
飛込	ライマン	109.75

### 500 碼自由世界記録 電話競泳

400米に 4:42.2 で世界記録を破つたシアトルのメヂカ(18年)と本年の全米室内選手権で500碼に優勝したフロリダのフラナガン(15年)の兩人を兩地のプールで泳がせて電話で之を連結して競泳せしむる企てが實行された。シアトルとフロリダとは米國の西岸と東岸で數千哩離れてゐるのを電話線で聯絡して同時にスタームさせて競泳した。プールは何れも25碼。其結果フラナガン5:29.0で優勝し世界記録アルネ・ボリーの5:31.4を破つた。同時に先日フラナガン自身の作つた5:31.2も破つた。

	フラナガン	メヂカ
100 碼	0:57.8	0:57.8
200 碼	2:00.8	2:04.0
300 碼	3:09.0	3:14.8
400 碼	4:20.0	4:25.0
450 碼	4:55.0	4:59.6
500 碼	5:29.0	5:34.6

450碼のタイムより計算すると400碼4:48.0、4:52.6位になる。

### 400 米背泳の世界記録

先日20碼プールで400米背泳に 5:42.0 の世界記録と對のタイムを出した英國のベスフォードは25碼プールに於て、400米背泳に 5:41.8 を出して新世界記録を作つた。入江君の 5:42.0 の世界記録は和歌山の25米競泳池で作られたもので今回のより折返が2回少い。



## 世 界 記 録 二 つ

男子200米平泳 (舊記録)	2:44.2 2:44.6	小 池 禮 三 L.Spence	1933.6.11 1931.4.2	早慶對抗競技 Chicago	神宮プール(50米) (25碼)
男子800米自由形 (舊記録)	10:08.6 10:15.6	牧 野 正 蔵 J. タ リ ス	1933.6.25 1932.6.21	早關對抗競技 Cannes	神宮プール(50米) (50米)

水泳シーズンの始つたばかりに小池が200米平泳に世界記録を出せば二週間おいて牧野が又してもタリスから榮譽を奪ひ反した。

小池君の記録はL.スペンスの2:44.6を破ること0.4秒ではあるが、スペンスの記録が25碼プールで作られたのに反し、小池は50米に於て作つたものでその実績に於ては實に堂々たるものである。小池はオリンピックの第一豫選及準決勝共に十分の實力を持ち乍ら力の配分に於てやゝ失敗した形であつたが今回は完全に Best pace で泳いだものである。

オリンピック及び今回のラップタイムは次の通り

オリンピック豫	36.0	1:17.6	2:01.6	2:46.2
オ・準	37.4	1:19.1	2:02.0	2:44.9
早 慶	33.0	1:17.6	2:00.6	2:44.2

牧野は1931年8月30日、大阪築港プールに於ける全國中等學校競泳大會に於てタリスの10:19.6を3秒縮めて10:16.6の世界記録を作つたが、その翌年1932年タリスは10:15.6を出して榮冠を奪へば、又今回牧野はこの記録でタイトルを保持した。こゝ四年間はタリス、牧野二人が800米をめぐつて一上一下の戦である。尙31年及び今回のラップ・タイムを比較すると次の通りである。

31年

100	200	300	400	500	600	700	800
1:09.4	2:26.2	3:43.8	5:03.4	6:22.8	7:41.8	9:02.4	10:16.6

32年

1:07.6	2:21.4	3:37.6	4:55.2	6:14.0	7:33.2	8:50.0	10:08.6
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------

尙途中500米の正式時間6:14.0は從來の500米の記録、横山隆志6:22.6を破つた日本新記録である。

## 編 輯 後 記

六月発行の筈の第18號を7月1日に發行し、8月1日に第19號、日本選手權大會を期して特別號を出版することにしました。競技に於ける大活躍が期待される今年その内容を盛つて本誌も益々充實したいと思つてゐます。

本號には競泳の指導が欠けましたが次號には是非載せますから御まち下さい。飛込は島崎君の飛込設備は御熟讀に値します。

今度は原稿が澤山集つて次號に割愛させて戴くの止むなきに到りました。市村氏の競泳發達史、白山夫人の更生する女子競泳界、笹島、時任兩君の春季學生リーグ戰評等は次號に廻させていただきます。どうぞ悪からず。

×                      ×                      ×  
×                      ×                      ×

日本水上競技  
聯盟機關雜誌 **水 泳 第十八號**

定 價 三十 錢 一年六回隔月發行  
豫約申込者に限り頒布す (一年前金豫約  
は送料不要)

廣 告 料 十圓乃至三十五圓

御申込次第詳細回答

昭和八年六月二十八日納本

昭和八年七月 一 日發行

編輯兼發行人 鶴 岡 英 吉  
(日本水上競技聯盟代表)

印 刷 者 君 島 潔  
印 刷 所 共同印刷株式會社

東京市小石川區久堅町一〇八

發 行 並 所 東京市麴町區丸ビル 87  
申 込 所 日本水上競技聯盟編輯事務所  
振替貯金東京三九九一九番

# ニポリット

## 強力殺菌消毒劑

ニポリット御用命先

早稲田大學プール  
慶應大學プール  
明治神宮外苑プール  
東京市役所各プール  
川崎市役所プール  
大阪市役所プール  
東京高等師範學校プール  
其他各大學、中學校  
小學校プール等

外國品ニ超越スル純國產  
簡易、無害、傳染病豫病、強力殺菌消毒劑

ニポリット(殺菌力石炭酸約二五〇倍)

### 特 徴

一、本劑ハ有効クロール七六・九五%以上ヲ含有シ強烈ナル殺菌力ヲ保有ス(東京衛生試驗所證明濟)

### 使 用 法

一、本劑ハ白色ノ粉末ナレバ使ヒ方ハ頗ル簡單ニシテ單ニ水ニ溶セバヨイノデアリマス。

用 例	プールの水十萬分ノ一 (一日目)	百萬分ノ一 (二日目)	三百萬分ノ一 (三日目)
千 石	三六〇瓦	一八〇瓦	九〇瓦

第十回オリンピック拳闘選手  
藥劑師 村上清信氏推薦

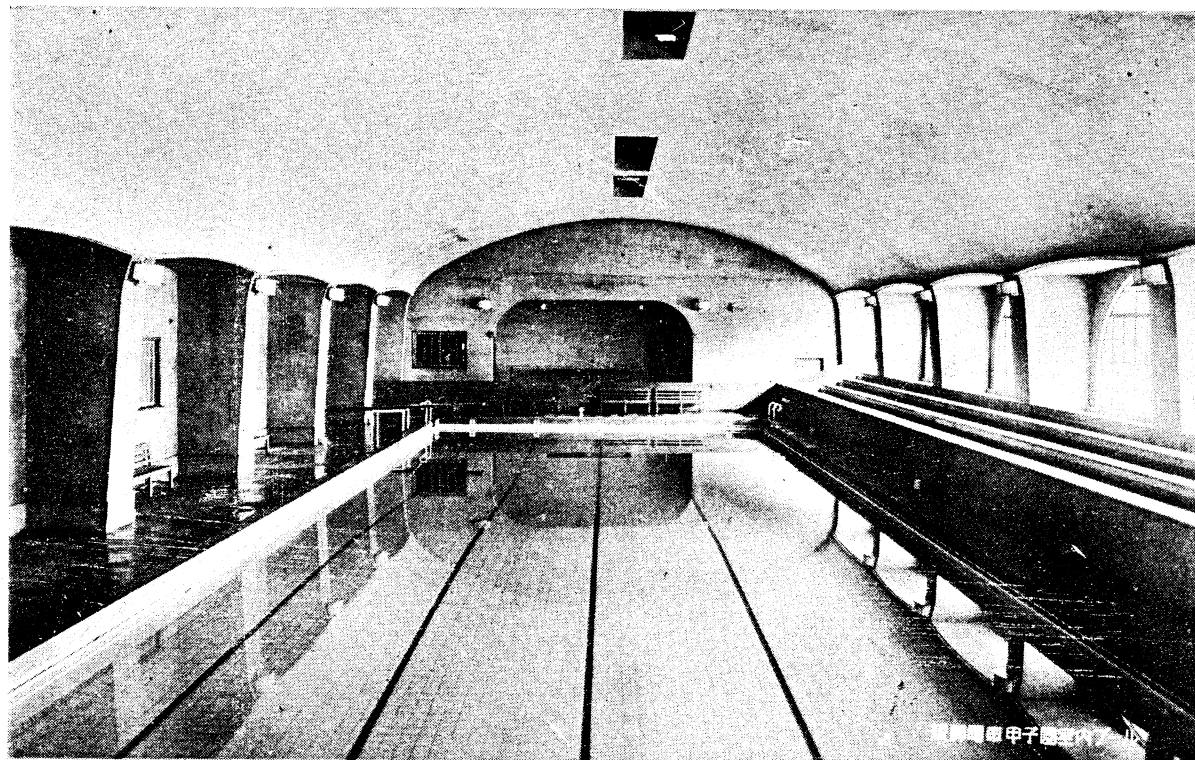
## 濱野商事株式會社藥品部

東京市麴町區丸ノ内三丁目八番地  
電話丸ノ内(23)九四三六七八  
振替口東京一六〇二番



# 東洋一の甲子園室内プール

を御利用下さい



水泳日本の輝しい躍進、世界一の水泳王國日本、霸權を永遠に我等の手にあらしめよ!!  
それには凡ての人が常に水に親まなければならない。この切實なる要求のために生れたのが甲子園室内プールである。

このプールは重油専焼ボイラーに依る保温、壓力濾過器に依る循環淨化装置、鹽素滅菌器による消毒装置を完備し、名實共に東洋一、水溫氣溫共に25度以上常に夏の如し。一般ファンも選手諸君もこのスポーツ殿堂に依つて、體力を養ひ、將來の發展を期されよ!!

## 會 費

正會員	入會金 10圓、會費三ヶ月分3圓前納
準會員	會費一ヶ月分1圓前納
臨時會員	入場料一時間 15 錢

## プール使用時間

正會員	午後五時より午後九時
準會員	午後五時より午後七時
臨時會員	男 (5月1日—10月31日)午後1時半より5時半 (11月1日—4月30日)午後2時より5時 女 (5月1日—10月31日)午前10時より午後1時 (11月1日—4月30日)午前11時より午後1時

阪 神 電 氣 鐵 道 株 式 會 社